

I 岩手県沿岸地域脳卒中患者状況調査の概要

1 目的

沿岸広域振興局管内の脳卒中患者の発症と経過、既往歴及び生活歴等について情報収集及び分析を行い、沿岸広域振興局管内（岩手県大船渡保健所管内、岩手県釜石保健所管内、岩手県宮古保健所管内）における脳卒中の状況を明らかにすることにより、脳卒中予防対策の一層の推進を図り、もって地域住民の脳卒中予防に寄与することを目的とする。

2 実施主体

沿岸広域振興局内 保健福祉環境部及び保健福祉環境センター
（岩手県大船渡保健所、岩手県釜石保健所、岩手県宮古保健所）

3 関係医療機関の協力

沿岸広域振興局管内の以下に示す岩手県地域脳卒中登録票提出医療機関の協力を得て行った。

岩手県大船渡保健所管内：岩手県立大船渡病院
岩手県釜石保健所管内：岩手県立釜石病院、せいてつ記念病院、
独立行政法人国立病院機構釜石病院
久喜神経内科歯科クリニック、はまと神経内科クリニック
岩手県宮古保健所管内：岩手県立宮古病院、済生会岩泉病院

4 実施期間

平成27年4月1日～平成30年3月31日の3年間

5 調査客体

沿岸広域振興局管内の8つの協力医療機関に受診し脳卒中と診断された患者のうち、調査に協力が得られた患者（3年間 計628名）を調査客体とした。

6 内容

「岩手県沿岸地域脳卒中患者状況調査票」「新規脳卒中発症者数報告票」により、協力医療機関において次の事項を記入・聞き取り等を行った。（毎月報告）

なお、具体的には「岩手県沿岸地域脳卒中患者状況調査実施要領」により実施した。

- (1) 脳卒中患者の発症と経過
- (2) 患者本人及び家族の既往歴
- (3) 患者の生活及び生活習慣の状況
- (4) 新規発症者の状況

7 秘密の保持

本調査に従事した医師、その他の関係者は、収集した情報を適切に取り扱い、患者について業務上知り得た個人情報については、これを厳守するものとする。

Ⅲ 平成27年度～平成29年度岩手県沿岸地域脳卒中患者状況調査結果

1 性別年齢区分

平成27年度～平成29年度の3年間に実施した「岩手県沿岸地域脳卒中患者状況調査」の被調査者数（調査票回収数）は628名（大船渡保健所69名、釜石保健所377名、宮古保健所182名）、男女別では、男性376名（59.9%）、女性252名（40.1%）となっている。

対象者の年齢を、「65歳未満」、「65歳以上75歳未満」、「75歳以上」に区分し、性別毎の人数及び割合を表1及び図1に示す。

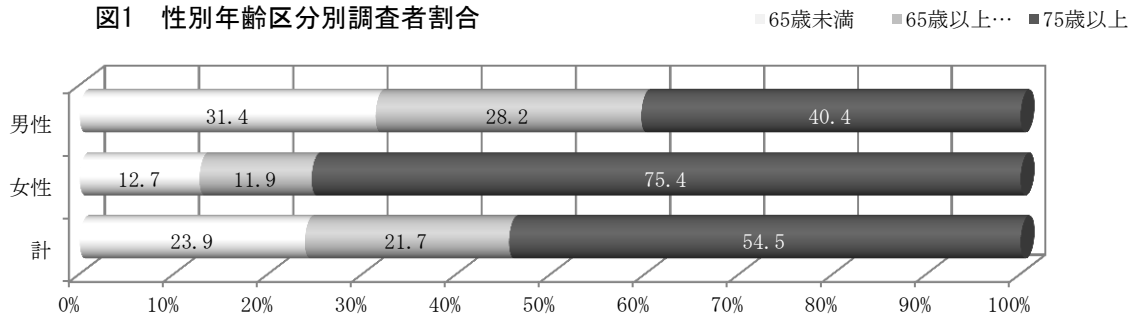
男女ともに、75歳以上の発症が最も高い割合となっているが、男性では65歳未満の発症も31.4%とかなり高い。

最も若い発症者は、男性で35歳、女性で40歳となっている。

表1 性別・年齢区分別調査者の人数及び割合

	人数（人）				割合（%）			
	65歳未満	65歳以上75歳未満	75歳以上	計	65歳未満	65歳以上75歳未満	75歳以上	計
男性	118	106	152	376	31.4	28.2	40.4	100
女性	32	30	190	252	12.7	11.9	75.4	100
計	150	136	342	628	23.9	21.7	54.5	100

図1 性別年齢区分別調査者割合



2 性別年齢区分別臨床診断区分

被調査者の臨床診断は、「脳梗塞」、「脳出血」、「くも膜下出血」、「その他」に区分される。

まず、男性の年齢区分別臨床診断区分別割合を図2に示す。

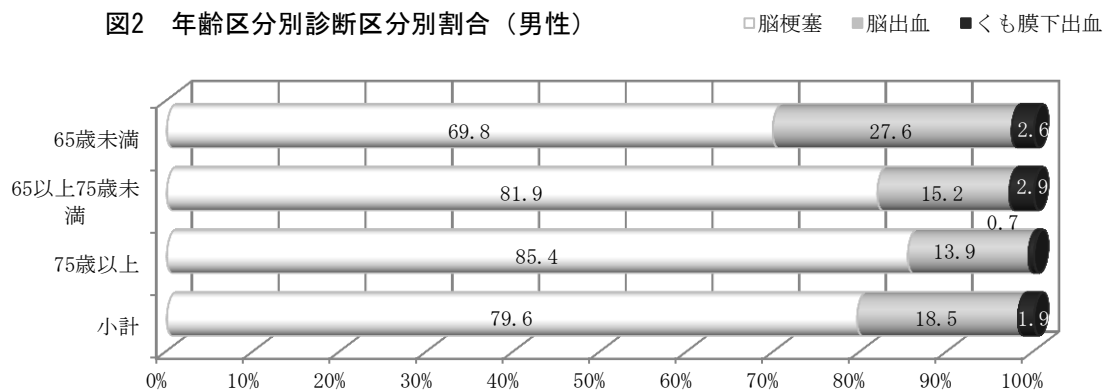
男性総数では、「脳梗塞」が296名で79.6%、「脳出血」が69名で18.5%、「くも膜下」が7名で1.9%となっている。

65歳未満では、「脳梗塞」が81名で69.8%、「脳出血」が32名で27.6%、「くも膜下」が3名で2.6%となっている。

65歳以上75歳未満では、「脳梗塞」が86名で81.9%、「脳出血」が16名15.2%となっている。

75歳以上では、「脳梗塞」が129名で85.4%、「脳出血」が21名で13.9%となっている。

図2 年齢区分別診断区分別割合（男性）



女性の年齢区分別臨床診断区分別割合を図3に示す。

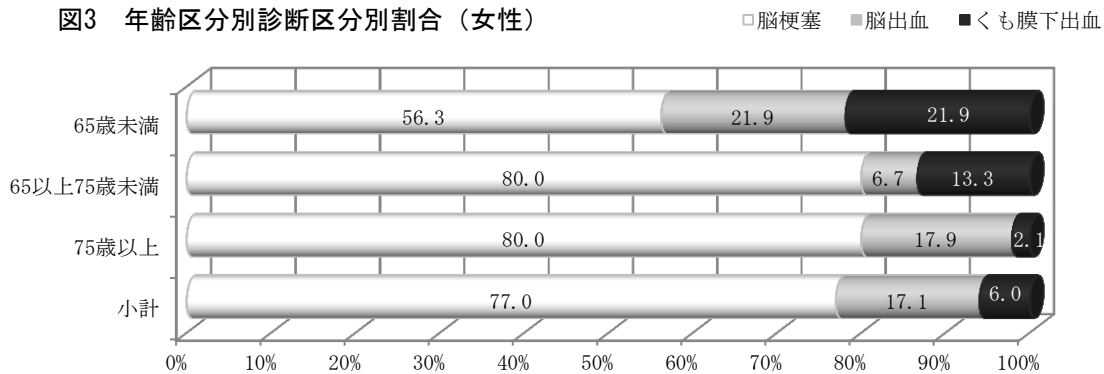
女性総数では、「脳梗塞」が194名で77.0%、「脳出血」が43名で17.1%、「くも膜下」が15名で6.0%となっている。

65歳未満では、「脳梗塞」が18名で56.3%、「脳出血」が7名で21.9%、「くも膜下」が7名21.9%となっている。

65歳以上75歳未満では、「脳梗塞」が24名で80.0%、「脳出血」が2名で6.7%、「くも膜下」が4名13.3%となっている。

75歳以上では、「脳梗塞」が152名で80.0%、「脳出血」が34名で17.9%、「くも膜下」が4名2.1%となっている。

図3 年齢区分別診断区分別割合（女性）



2-1 性別年齢区分別脳梗塞診断区分

脳梗塞は、「アテローム血栓性脳梗塞」、「心原性脳梗塞」、「ラクナ梗塞」、「その他・不明」に大別される。男性の年齢区分別脳梗塞診断区分別割合を図4に示す。

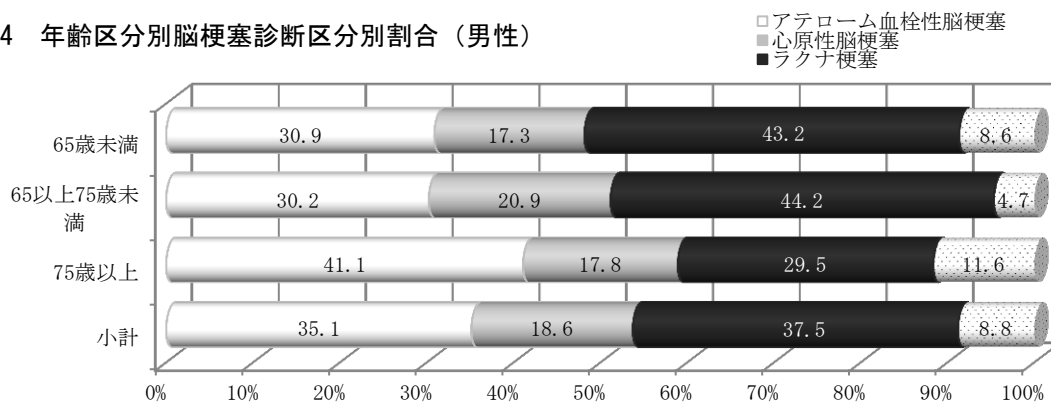
男性総数の脳梗塞発症者のうち、「アテローム血栓性脳梗塞」が104名で35.1%、「心原性脳梗塞」が55名で18.6%、「ラクナ梗塞」が111名で37.5%、「その他・不明」が26名8.8%となっている。

65歳未満では、「アテローム血栓性脳梗塞」が25名で30.9%、「心原性脳梗塞」が14名で17.3%、「ラクナ梗塞」が35名で43.2%となっている。

65歳以上75歳未満では、「アテローム血栓性脳梗塞」が26名で30.2%、「心原性脳梗塞」が18名20.9%、「ラクナ梗塞」が38名で44.2%となっている。

75歳以上では、「アテローム血栓性脳梗塞」が53名で41.1%、「心原性脳梗塞」が23名で17.8%、「ラクナ梗塞」が38名で29.5%、「その他・不明」が15名11.6%となっている。

図4 年齢区分別脳梗塞診断区分別割合（男性）



同じく、女性の年齢区分別脳梗塞診断区分別割合を図5に示す。

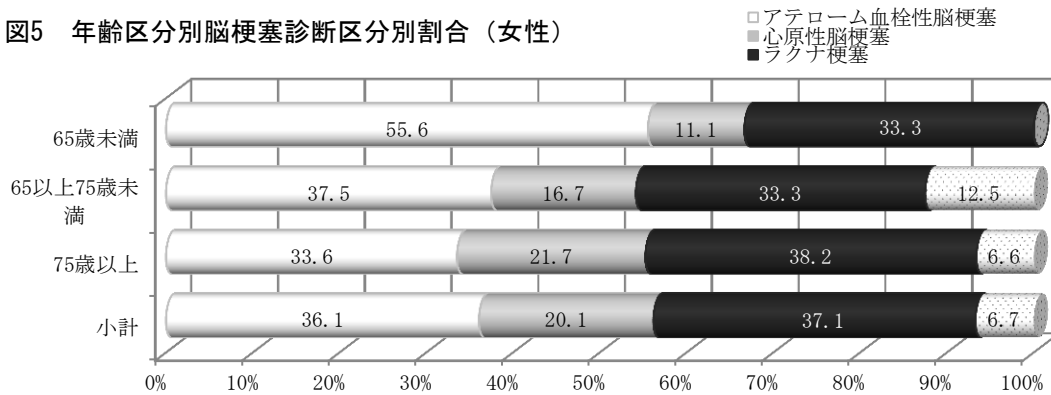
総数の脳梗塞発症者のうち、「アテローム血栓性脳梗塞」が70名で36.1%、「心原性脳梗塞」が39名で20.1%、「ラクナ梗塞」が72名で37.1%、「その他・不明」が13名6.7%となっている。

65歳未満では、「アテローム血栓性脳梗塞」が10名で55.6%、「心原性脳梗塞」が2名11.1%、「ラクナ梗塞」が6名33.3%となっている。

65歳以上75歳未満では、「アテローム血栓性脳梗塞」が9名で37.5%、「心原性脳梗塞」が4名16.7%、「ラクナ梗塞」が8名で33.3%となっている。

75歳以上では、「アテローム血栓性脳梗塞」が51名で33.6%、「心原性脳梗塞」が33名21.7%、「ラクナ梗塞」が58名で38.2%、「その他・不明」が10名6.6%となっている。

図5 年齢区分別脳梗塞診断区分別割合（女性）



2-2 性別年齢区分別脳出血診断区分

脳出血は、「皮殻」、「視床」、「脳橋」、「小脳」、「皮質下」に大別される。男性の年齢区分別脳出血診断区分別割合を図6に示す。

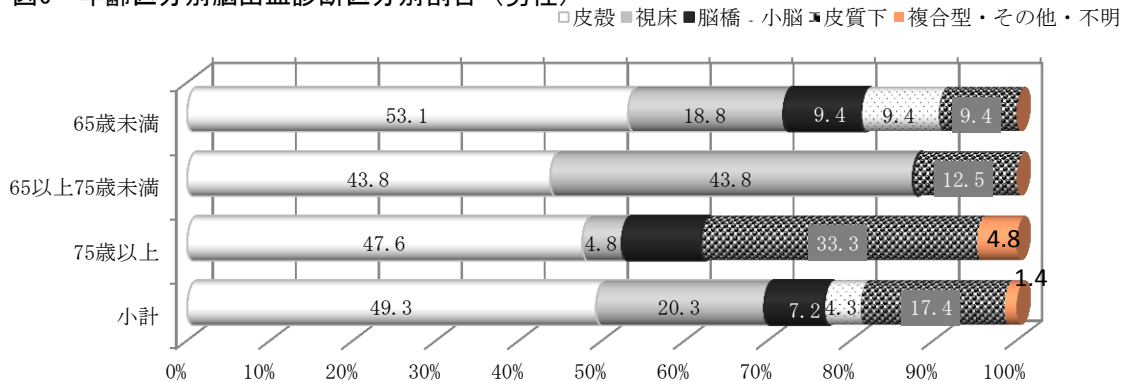
男性総数の脳出血発症者のうち、「皮殻」が34名で49.3%、「視床」が14名20.3%、「脳橋」が5名7.2%、「小脳」が3名で4.3%、「皮質下」が12名で17.4%となっている。

65歳未満では、「皮殻」「視床」が各7名43.8%、「皮質下」が3名で9.4%となっている。

65歳以上75歳未満では、「皮殻」と「視床」が、各7名で43.8%、「皮質下」が2名12.5%となっている。

75歳以上では、「皮殻」が10名で47.6%、「視床」が1名4.8%、「脳橋」が2名9.5%、「皮質下」が7名で33.3%となっている。

図6 年齢区分別脳出血診断区分別割合（男性）



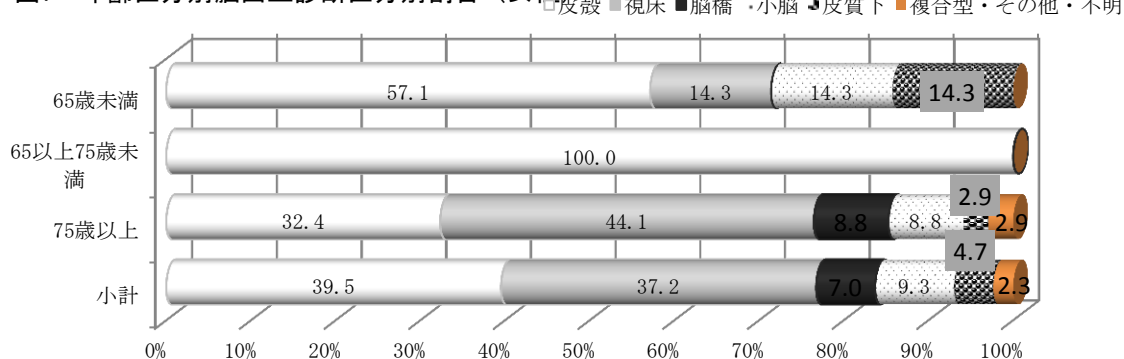
同じく、女性の年齢区分別脳出血診断区分別割合を図7に示す。65歳以上75歳未満では「皮殻」2名で100%となっている。

総数の脳出血発症者のうち、「皮殻」が17名で39.5%、「視床」が16名37.2%、「脳橋」3名7.0%、「小脳」4名9.3%、「皮質下」が2名で4.7%となっている。

65歳未満では、「皮殻」4名57.1%、「視床」及び「小脳」「皮質下」が、各1名で14.3%ずつとなっている。

75歳以上では、「皮殻」が11名で32.4%、「視床」が15名で44.1%、「脳橋」及び「小脳」が3名8.8%ずつ、「皮質下」が1名で2.9%となっている。

図7 年齢区分別脳出血診断区分別割合（女性）



2-3 くも膜下出血診断区分

くも膜下出血については、男性の総数7名のうち、「破裂脳動脈瘤」が6名85.7%、「その他」1名14.3%となっている。

また、女性総数15名のうち、「破裂脳動脈瘤」が14名93.3%、「その他」1名6.7%となっている。

3 性別臨床診断区分別発症月

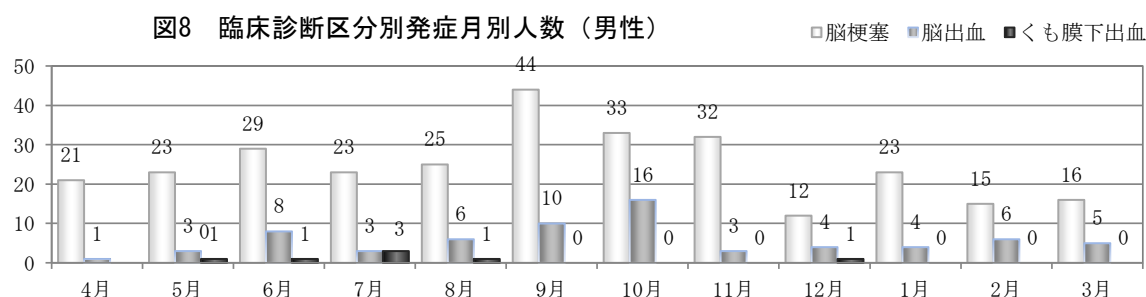
本事業の実施期間は4月1日からとなっているが、調整期間を経て、実際の調査開始は年度途中となっている。このため、被調査者の発症月は平成27年5月～平成30年3月までの状況を集計したものとなっている。

まず、男性の臨床診断区分別発症月別人数を図8に示す。

「脳梗塞」は9月が44件と最も多く、次いで10月33件、11月32件となっている。

「脳出血」は、10月16件、9月10件となっている。

「くも膜下出血」は、7月3件が最も多い月となっている。

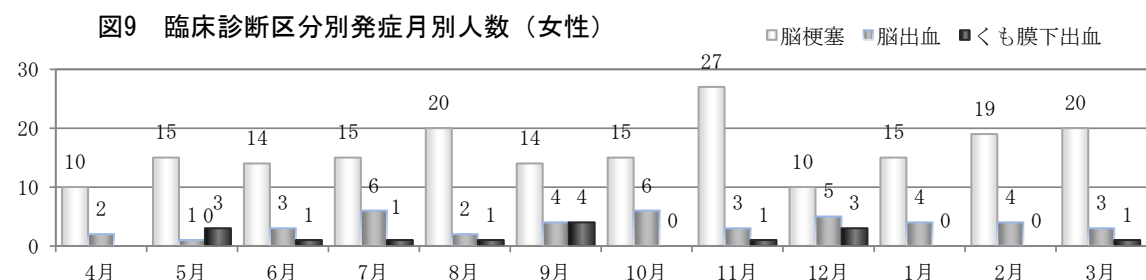


次に、女性の臨床診断区分別発症月別人数を図9に示す。

「脳梗塞」は11月が27件と最も多く、次いで3月と8月が20件となっている。

「脳出血」は、7月と10月の6件が最も多くなっている。

「くも膜下出血」は、9月の4件が最も多くなっている。



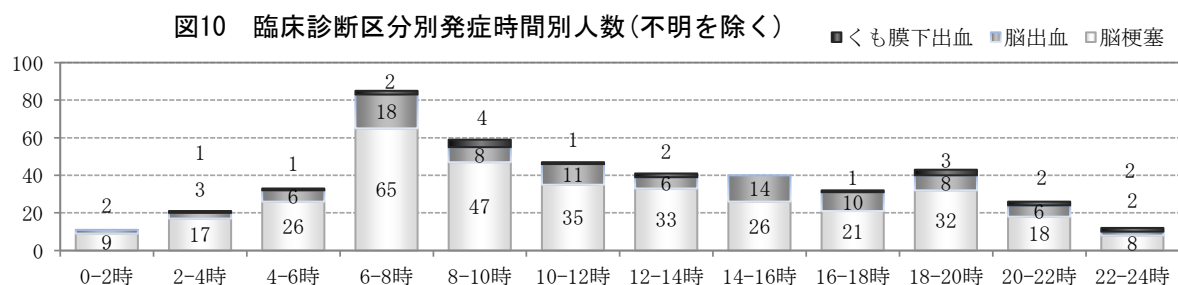
4 臨床診断区分別発症時間

臨床診断区分別発症時間別の状況を図10に示す。

最も発症の多い時間帯は、「脳梗塞」が午前6時～8時65件、次いで午前8時～10時47件、10時～12時35件となっている。

「脳出血」は、午前6時～8時の18件、次いで午後2時～4時の14件となっている。

「くも膜下出血」は、午前8時～10時の4件、次いで午後6時～8時の3件となっている。

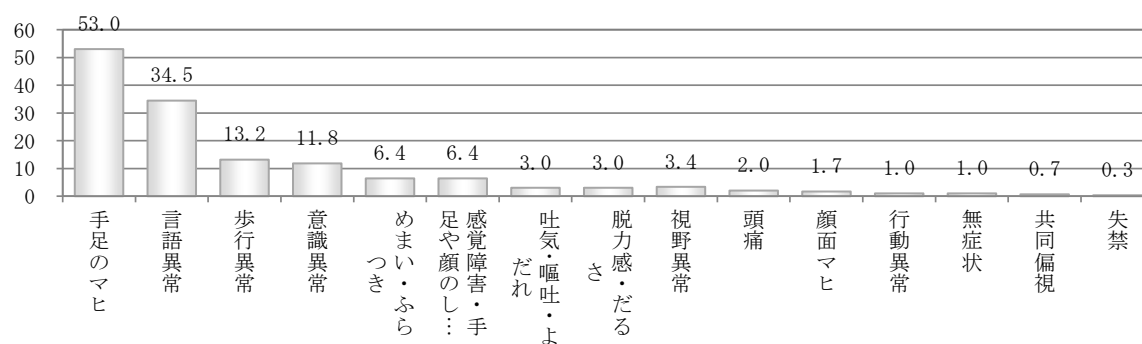


5 性別臨床診断区別発症症状

まず、脳梗塞男性の発症症状別割合を図11に示す。複数回答であるため、脳梗塞男性296名を母数として割合を算出している。

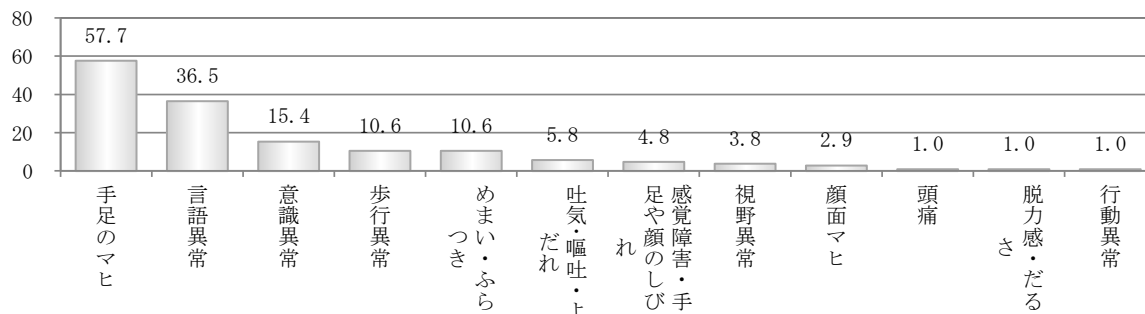
最も多いのが、「手足のマヒ」157名で53.0%、次いで「言語異常」が102名で34.5%となっている。

図11 脳梗塞男性の発症症状別割合



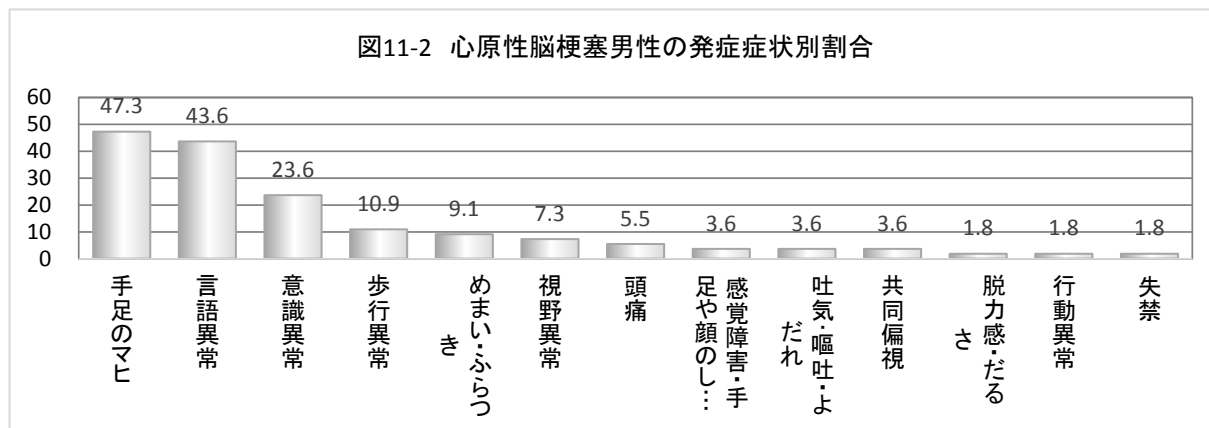
次に、脳梗塞の区分の一つであるアテローム血栓性脳梗塞男性の発症症状別割合を図11-1に示す。母数は104名となっており、最も多いのが、「手足のマヒ」60名で57.7%、次いで「言語異常」38名36.5%、「意識異常」が16名で15.4%となっている。

図11-1 アテローム血栓性脳梗塞男性の発症症状別割合



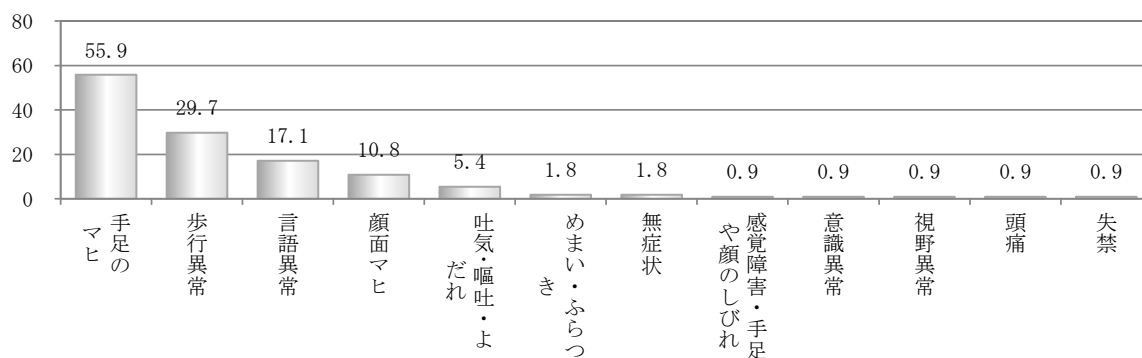
脳梗塞の区分の一つである心原性脳梗塞の男性は55名で、「手足のマヒ」26名47.3%、「言語異常」が24名43.6%、「意識異常」が13名23.6%となっている。

図11-2 心原性脳梗塞男性の発症症状別割合



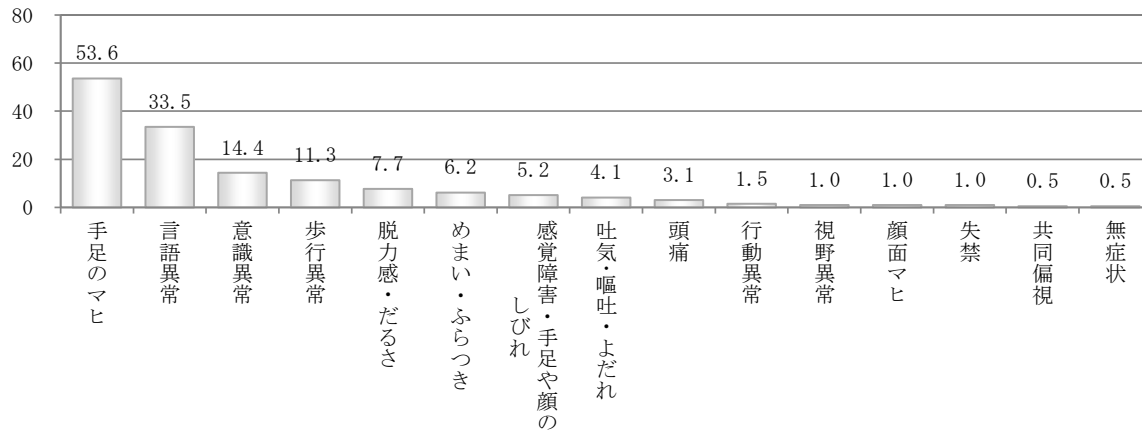
脳梗塞の区分の一つであるラクナ梗塞男性の発症症状別割合を図11-3に示す。母数は111名となっており、最も多いのが、「手足のマヒ」62名で55.9%、次いで「言語異常」が33名の29.7%となっている。

図11-3 ラクナ梗塞男性の発症症状別割合



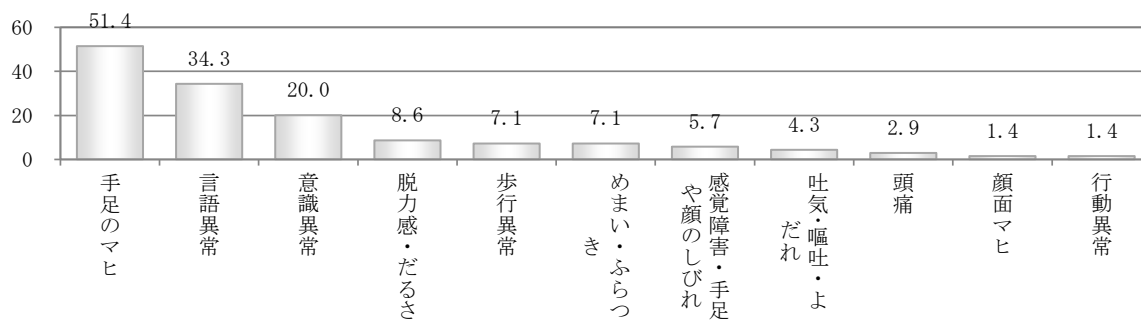
次に、脳梗塞女性の発症症状別割合を図12に示す。母数は194名となっている。最も多いのが、「手足のマヒ」104名で53.6%、次いで「言語異常」が65名33.5%となっている。

図12 臨床診断区別発症症状別割合（脳梗塞女性）



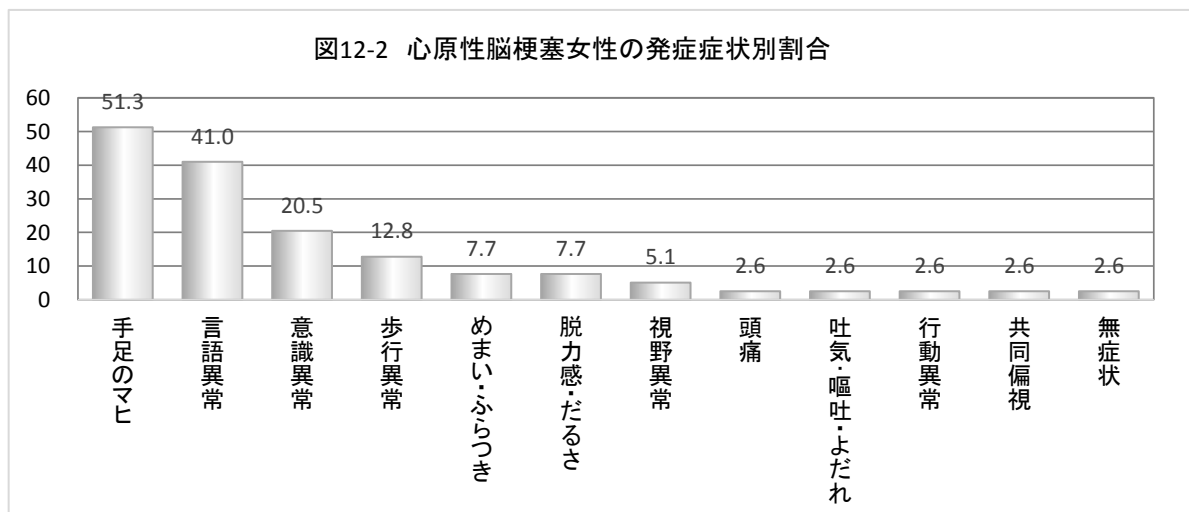
同じく、脳梗塞の区分の一つであるアテローム血栓性脳梗塞女性の発症症状別割合を図12-1に示す。母数は70名となっており、最も多いのが、「手足のマヒ」で36名51.4%、次いで「言語異常」24名34.3%、「意識異常」14名20.0%となっている。

図12-1 アテローム血栓性脳梗塞女性の発症症状別割合



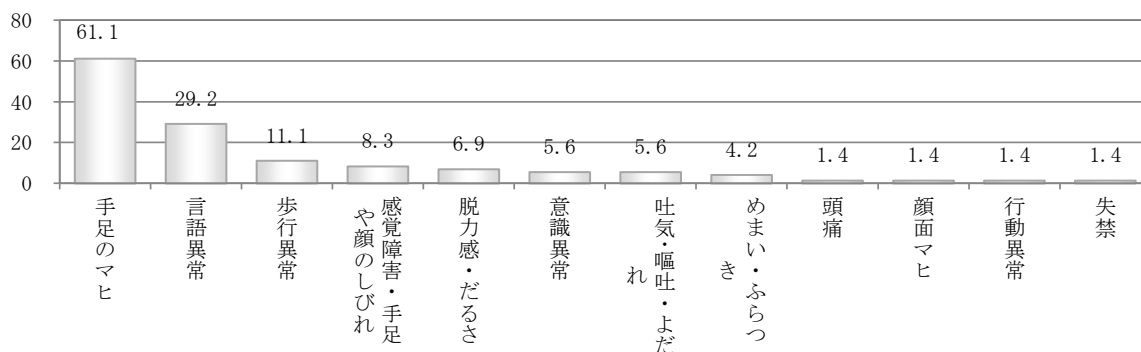
脳梗塞の区分の一つである心原性脳梗塞の女性は39名あり、その発症症状別割合では、「手足のマヒ」が20名で51.3%、「言語異常」が16名41.0%、「意識異常」が8名20.5%となっている。

図12-2 心原性脳梗塞女性の発症症状別割合



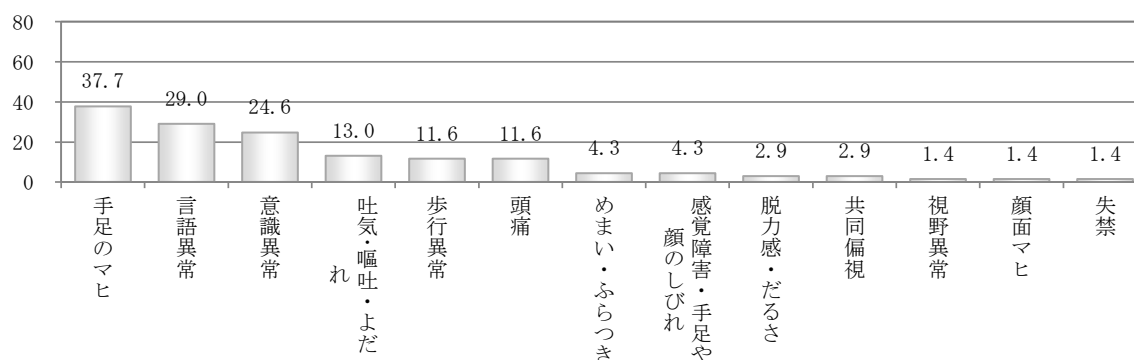
脳梗塞の区分の一つであるラクナ梗塞女性の発症症状別割合を図12-3に示す。母数は72名となっており、「手足のマヒ」が44名で61.1%、次いで「言語異常」が21名29.2%となっている。

図12-3 ラクナ梗塞女性の発症症状別割合



次に、脳出血男性の発症症状別割合を図13に示す。母数は69名となっている。最も多いのが、「手足のマヒ」で26名37.7%、次いで「言語異常」が20名29.0%、「意識異常」が17名24.6%となっている。

図13 臨床診断区別発症症状別割合（脳出血男性）



次に、脳出血女性の発症症状別割合を図14に示す。母数は43名となっている。最も多いのが、「手足のマヒ」で19名44.2%、次いで「意識異常」が12名27.9%となっている。

図14 臨床診断区別発症症状別割合（脳出血女性）



くも膜下出血については、男性の母数が7名で、「頭痛」が13名71.4%、「手足のマヒ」2名28.6%、女性の母数が15名で、「頭痛」が13名86.7%、「吐気・嘔吐・よだれ」が4名26.7%となっている。

6 発症場所

被調査者全体の発症場所別割合を図15に示す。

「自宅」が最も多く、349名72.7%となっている。「自宅」での発症場所別割合を図15-1に示す。最も多いのは、「浴室・トイレ以外の屋内（居間等）」で64.5%、次いで「寝室」が15.2%、「トイレ」と「浴室」が4.0%、「その他」が10.6%となっている。

性別や臨床診断区分別には、特に大きな差は見られなかった。

図15 発症場所別割合（総数）

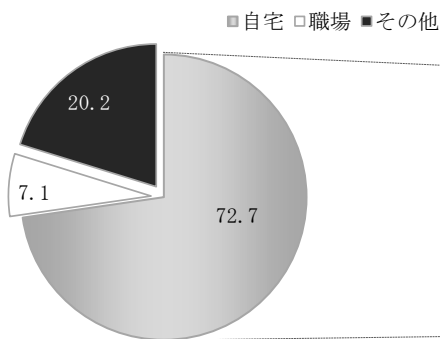
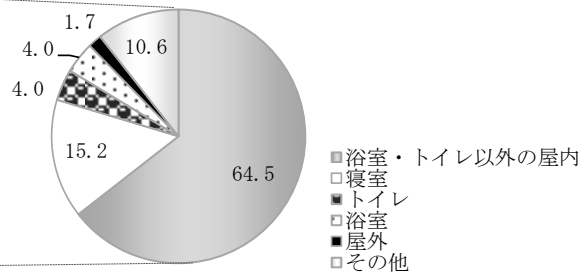


図15-1 自宅の発症場所別割合（総数）



7 性別臨床診断区分別発症から受診までの時間

被調査者の発症から受診までの時間について、「3時間以内」、「24時間以内(3時間以内を除く)」、「3日以内(24時間以内を除く)」、「4日以上」に区分し、男性の臨床診断区分別割合を図16に示す。

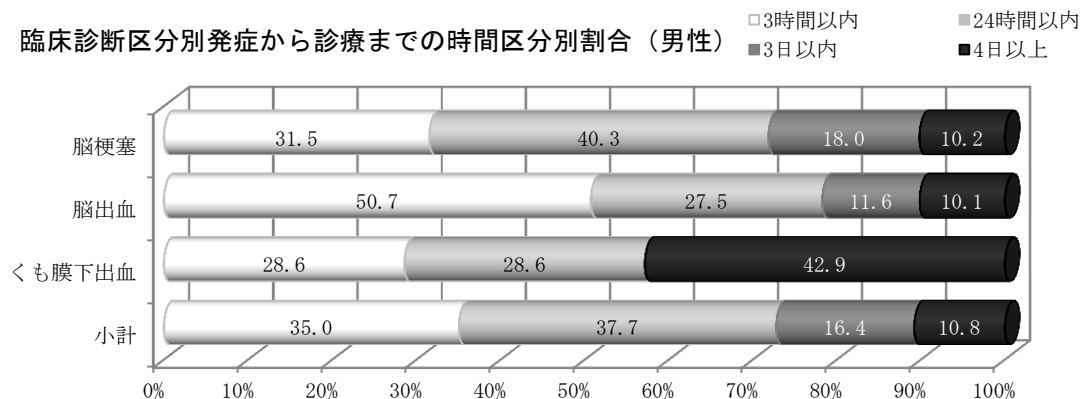
脳梗塞では、「3時間以内」が93名31.5%、「24時間以内」が119名40.3%、「3日以内」が53名18.0%、「4日以上」30名10.2%となっている。

脳出血は、「3時間以内」が35名50.7%、「24時間以内」が19名27.5%、「3日以内」が8名11.6%、「4日以上」が7名10.1%となっている。

くも膜下出血は、「3時間以内」及び「4日以上」が、各2名28.6%ずつとなっている。

いずれも、発症から受診までに長い時間を要している者が多いことがわかる。

図16 臨床診断区分別発症から診療までの時間区分別割合（男性）

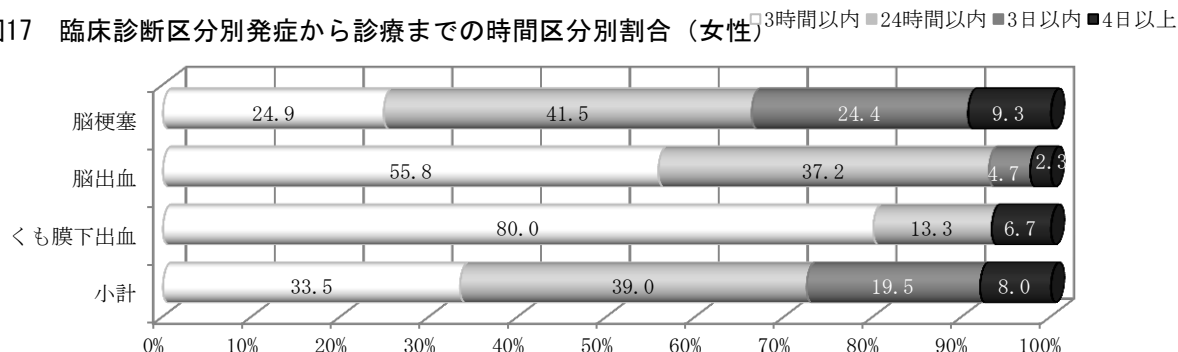


次に、女性の臨床診断区分別発症から受診までの時間区分別割合について図17に示す。
 脳梗塞では、「3時間以内」が48名24.9%、「24時間以内」が80名41.5%、「3日以内」が47名24.4%、「4日以上」が18名9.3%となっている。

脳出血は、「3時間以内」が24名55.8%、「24時間以内」が16名37.2%、「3日以内」が2名4.7%となっている。

女性も、発症から受診までに長い時間を要している者が多いが、くも膜下出血は、12名80.0%が「3時間以内」となっている。

図17 臨床診断区分別発症から診療までの時間区分別割合（女性）



8 診療形態

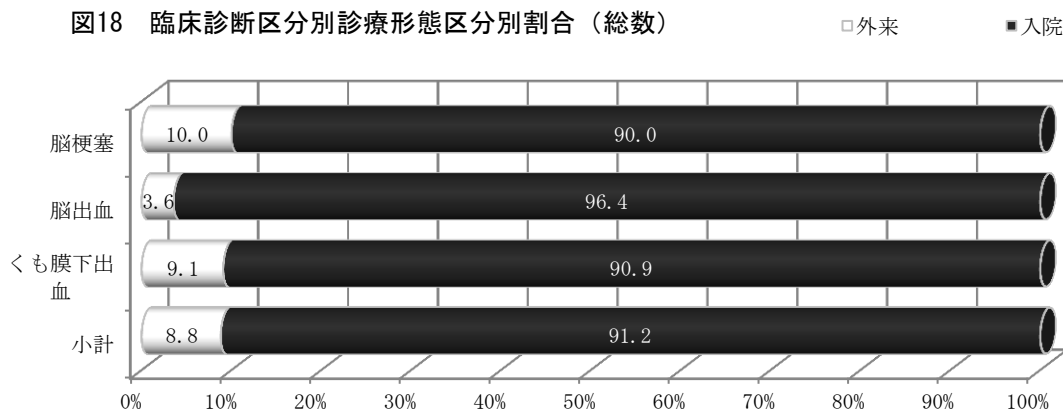
診療形態別を、「外来」、「入院」に区分し、臨床診断区分別割合を図18に示す。

脳梗塞では、「外来」が49名10.0%、「入院」が441名90.0%となっている。

脳出血では、「外来」が4名3.6%で「入院」108名96.4%となっており、くも膜下は「外来」が2人で9.1%、「入院」が20人で90.9%となっている。

性別では、特に大きな差は見られなかった。

図18 臨床診断区分別診療形態区分別割合（総数）



9 受診方法

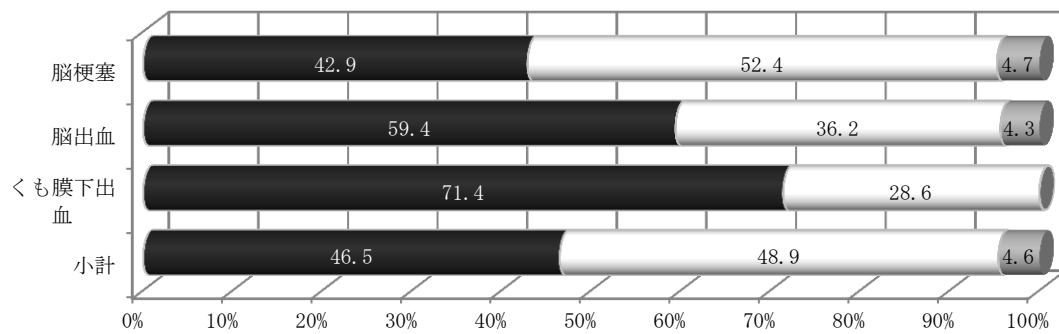
受診方法を、「救急車搬送」、「自己来院」、「その他・不明」に区分し、男性の臨床診断区分別割合を図19に示す。

脳梗塞では、「救急車搬送」が127名で42.9%、「自己来院」が155名52.4%となっている。

脳出血では、「救急車搬送」41名59.4%、「自己来院」25名36.2%となっている。

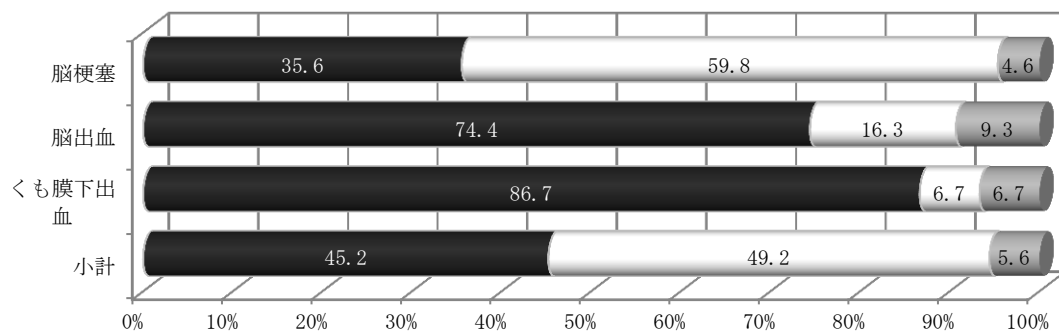
くも膜下出血では、「救急車搬送」5名71.4%、「自己来院」が2名28.6%となっている。

図19 臨床診断区分今回の受診方法別割合（男性） ■救急車搬送 □自己来院 ■その他・不明



次に、女性の臨床診断区分別の今回の受診方法別割合を図20に示す。
 脳梗塞では、「救急車搬送」が69名で35.6%、「自己来院」が116名59.8%となっている。
 脳出血では、「救急車搬送」が32名74.4%、「自己来院」が7名16.3%となっている。
 くも膜下出血は、「救急車搬送」13名86.7%、「自己来院」が1名6.7%となっている。

図20 臨床診断区分今回の受診方法別割合（女性） ■救急車搬送 □自己来院 ■その他・不明



10 画像診断の有無

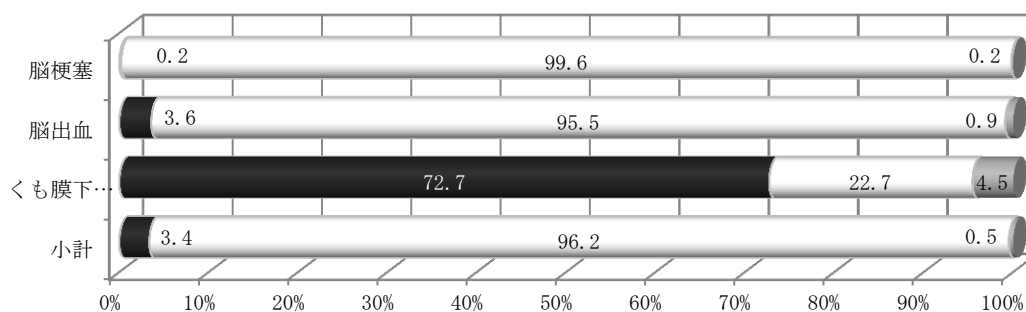
被調査者の画像診断については、「脳梗塞」の99.8%、「脳出血」の99.1%、「くも膜下出血」の100%が「画像診断あり」となっている。

11 臨床診断区分別手術の有無

被調査者総数の手術治療の有無について、「あり」、「なし」、「不明」に区分し、臨床診断区分別割合を図21に示す。

脳梗塞では、「なし」が295名で99.7%、「不明」が1名で0.3%となっている。
 脳出血では、「あり」3人34.3%、「なし」65名94.2%となっている。
 性別による大きな差は見られなかった。

図21 臨床診断区別手術治療有無別割合（総数） ■あり □なし ■不明



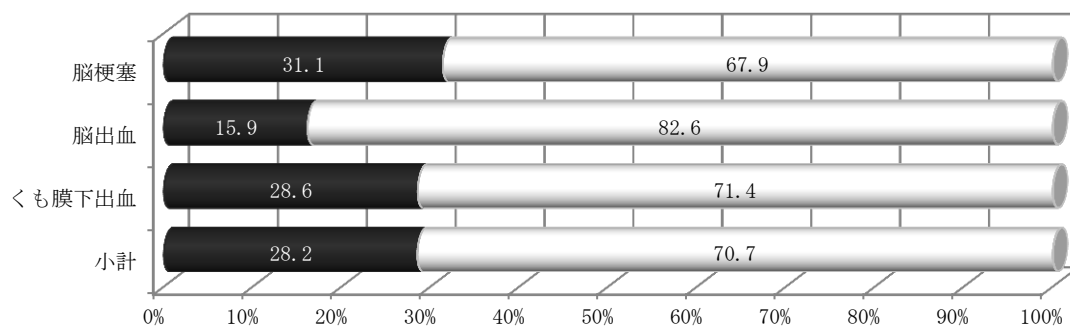
12 脳梗塞患者の血栓溶解療法（t-PA）

被調査者の血栓溶解療法については、男性4名、女性1名に実施した他は、「血栓溶解療法なし」となっている。

13 性別臨床診断区別脳卒中既往

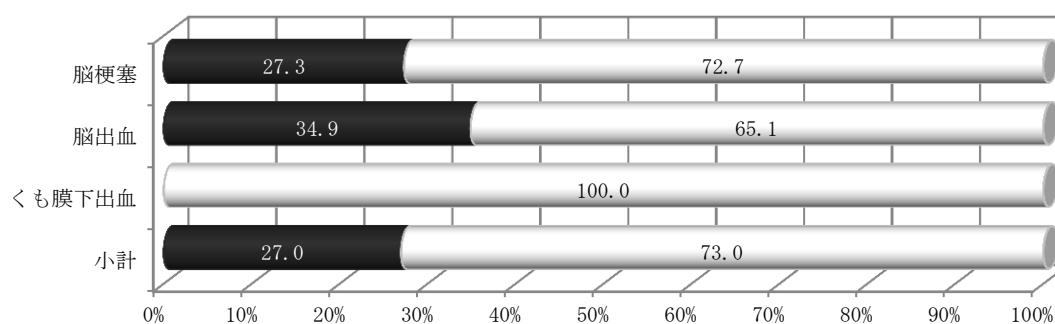
男性の臨床診断区別脳卒中既往歴区別割合を図22に示す。
 脳梗塞では92名31.1%、脳出血は11名15.9%が、脳卒中の「既往歴あり」となっている。
 くも膜下出血は、2名28.6%が「既往歴あり」となっている。

図22 臨床診断区別脳卒中既往歴区別割合（男性） ■あり □なし



同じく女性の臨床診断区別脳卒中既往歴区別割合を図23に示す。
 「脳梗塞」では53名27.3%、「脳出血」は15名34.9%が、脳卒中の「既往歴あり」となっている。
 くも膜下出血は、15名の発症者すべてが「既往歴なし」となっている。

図23 臨床診断区別脳卒中既往歴区別割合（女性） ■あり □なし



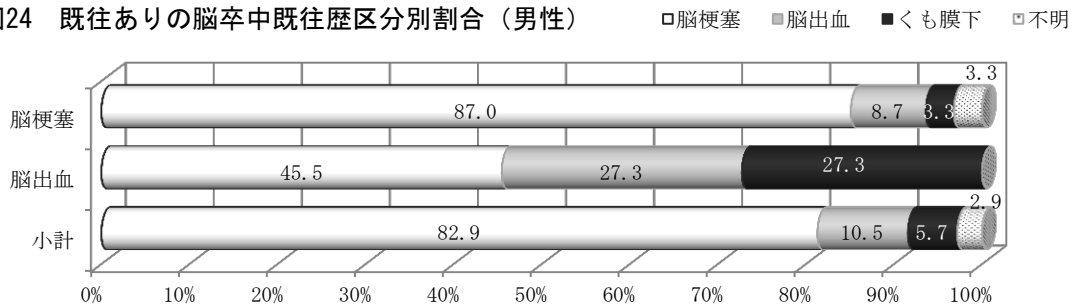
13-1 脳卒中既往歴ありの者の病名

13で脳卒中既往歴ありと回答した男性の病名を図24に示す。

今回、「脳梗塞」となった被調査者92名の過去の脳卒中の既往は、「脳梗塞」が80名で87.0%、「脳出血」が8名で8.7%、「くも膜下」が3名3.3%となっている。

「脳出血」となった被調査者11名の既往は、「脳梗塞」が5名45.5%、「脳出血」が3名27.3%、「くも膜下出血」が3名27.3%となっている。

図24 既往ありの脳卒中既往歴区分別割合（男性）

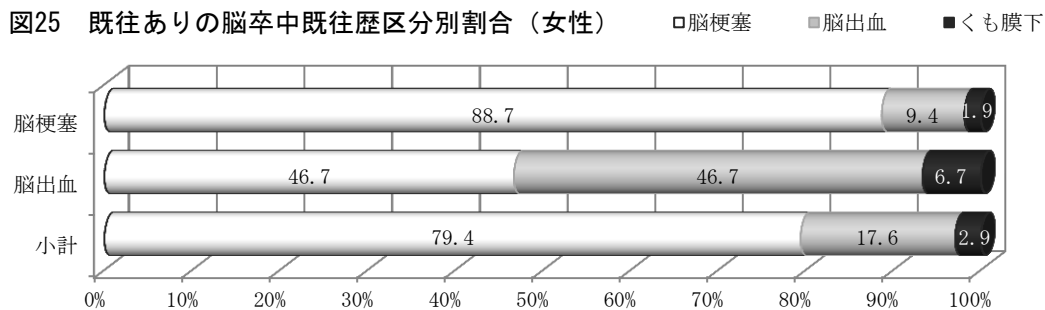


同じく女性の病名別割合を図25に示す。

今回、「脳梗塞」となった被調査者53名の過去の脳卒中の既往は、「脳梗塞」が47名の88.7%、「脳出血」が5名9.4%、「くも膜下出血」が1名1.9%となっている。

「脳出血」となった被調査者15名の既往は、「脳梗塞」が7名で46.7%、「脳出血」が7名46.7%となっている。

図25 既往ありの脳卒中既往歴区分別割合（女性）



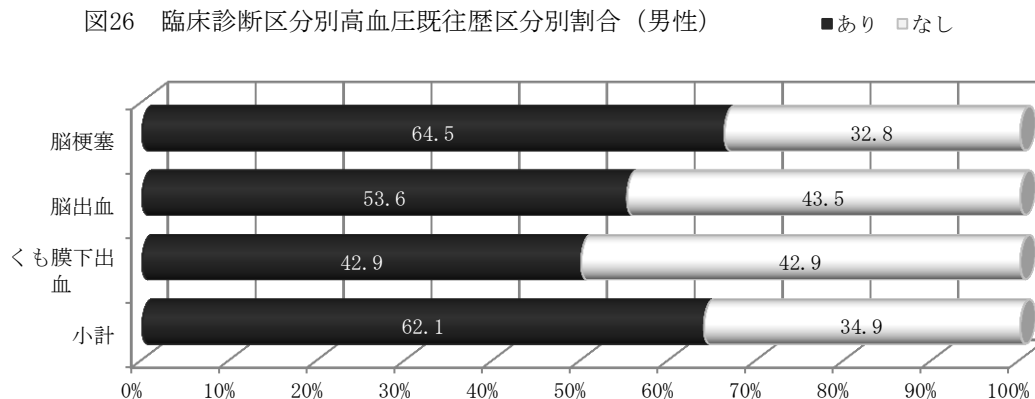
14 性別臨床診断区分別高血圧既往歴

高血圧既往歴については、「あり」、「なし」、「不明」に区分している。

男性の臨床診断区分別高血圧既往歴区分別割合を図26に示す。

脳梗塞は191名64.5%、脳出血は37名53.6%が、「くも膜下」は3名42.9%が高血圧の「既往歴あり」となっている。

図26 臨床診断区分別高血圧既往歴区分別割合（男性）

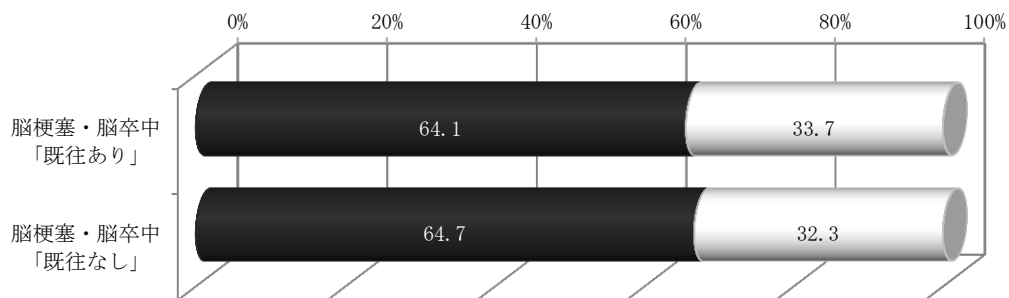


参考：特定健診血圧リスクありの割合（H25：40-79気仙・釜石・宮古圏域男性） 60.9%

次に、12における脳卒中の「既往歴あり」、「既往歴なし」の区別に、男性の臨床診断区別高血圧既往歴区別割合を図26-1に示す。

過去に脳卒中の既往があり、今回「脳梗塞」となった者92名の高血圧「既往歴あり」は59名で64.1%となっており、脳卒中の既往なしで今回「脳梗塞」となった者201名の高血圧「既往歴あり」130名64.7%とほぼ同じ割合となっている。

図26-1 脳卒中「既往歴あり」、「既往歴なし」区別脳梗塞発症者の高血圧既往歴区別割合（男性） ■あり □なし

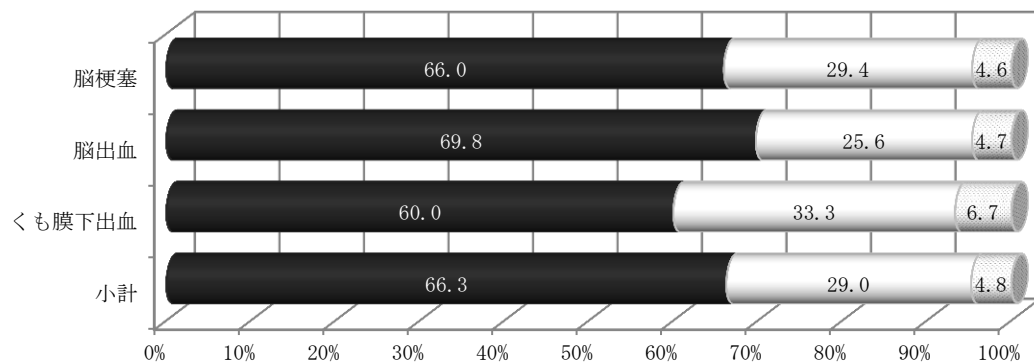


参考：特定健診血圧リスクありの割合（H25：40-79気仙・釜石・宮古圏域男性） 60.9%

同じく女性の臨床診断区別高血圧既往歴区別割合を図27に示す。

脳梗塞は128名66.0%、脳出血は30名69.8%、くも膜下は9名60.0%で、高血圧の「既往歴あり」となっている。

図27 臨床診断区別高血圧既往歴区別割合（女性） ■あり □なし □不明

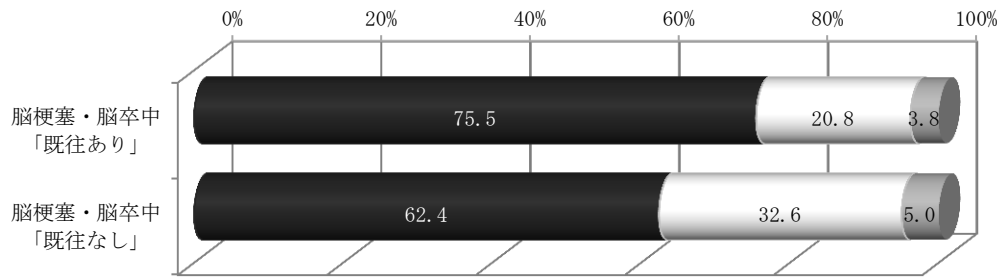


参考：特定健診血圧リスクありの割合（H25：40-79気仙・釜石・宮古圏域女性） 50.6%

同じく、12における脳卒中の「既往歴あり」、「既往歴なし」の区別に、女性の臨床診断区別高血圧既往歴区別割合を図27-1に示す。

過去に脳卒中の既往があり、今回「脳梗塞」となった者53名の高血圧「既往歴あり」は40名75.5%となっており、脳卒中の既往なしで今回「脳梗塞」となった者141名の高血圧「既往歴あり」88名62.4%より13.1ポイント高い状況となっている。

図27-1 脳卒中「既往歴あり」、「既往歴なし」区別臨床診断区別
 高血圧既往歴区別割合（女性）

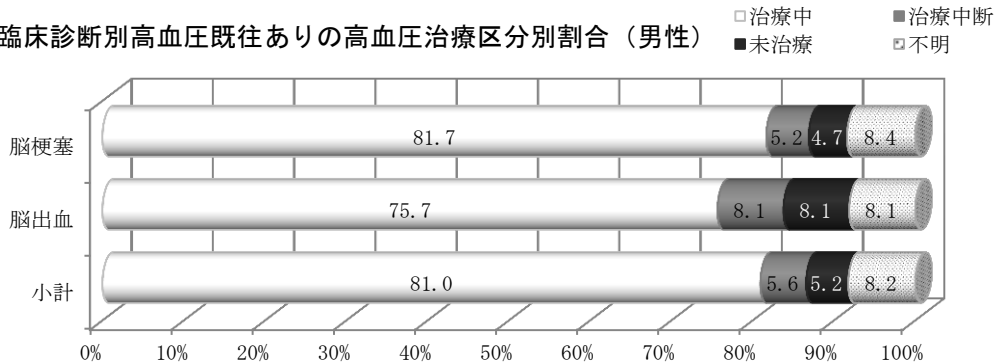


参考：特定健診血圧リスクありの割合（H25：40-79気仙・釜石・宮古圏域女性） 50.6%

14-1 高血圧既往歴ありの者の治療の状況

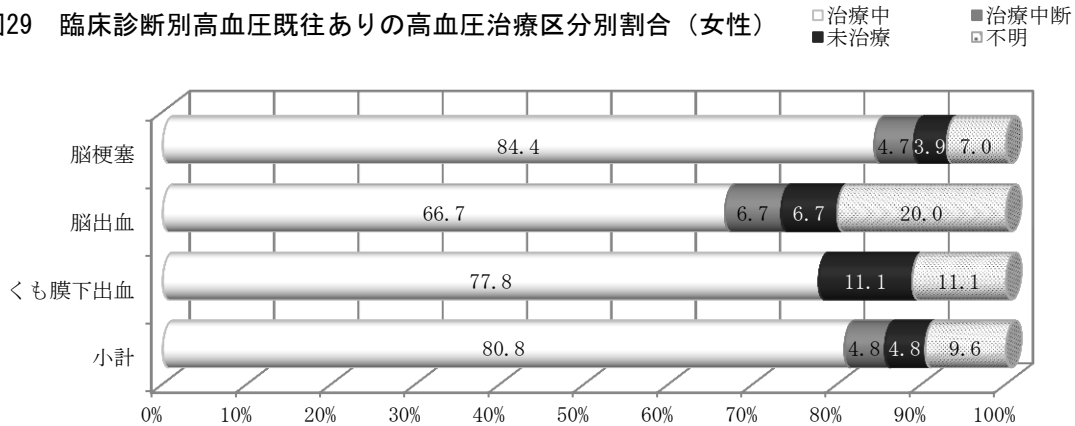
14で高血圧「既往歴あり」と答えた男性の臨床診断区別高血圧治療区別割合を図28に示す。
 今回、脳梗塞を発症した高血圧「既往歴あり」の被調査者191名の治療状況は、「治療中」が156名で81.7%、「治療中断」が10名5.2%、「未治療」が9名4.7%、「不明」が16名8.4%となっている。
 脳出血を発症した高血圧「既往歴あり」の被調査者37名の治療状況は、「治療中」が28名で75.7%、「治療中断」及び「未治療」が各2名6.7%ずつとなっている。
 くも膜下出血で高血圧「既往歴あり」の12名は、「治療中」が10名83.3%、「不明」が6名20.0%となっている。

図28 臨床診断別高血圧既往ありの高血圧治療区別割合（男性）



同じく高血圧「既往歴あり」の女性の臨床診断区別高血圧治療区別割合を図29に示す。
 今回、脳梗塞を発症した高血圧「既往歴あり」の被調査者128名の治療状況は、「治療中」が108名で84.4%、「治療中断」が6名4.7%、「未治療」が5名3.9%、「不明」が9名7.0%となっている。
 脳出血を発症した高血圧「既往歴あり」の被調査者30名の治療状況は、「治療中」が20名で66.7%、「治療中断」及び「未治療」が各2名6.7%ずつとなっている。
 くも膜下出血で高血圧「既往歴あり」の12名は、「治療中」が10名83.3%、「不明」が6名20.0%となっている。

図29 臨床診断別高血圧既往ありの高血圧治療区別割合（女性）



14-2 性別臨床診断区分別普段の血圧

被調査者の普段の血圧について、「正常域血圧」、「Ⅰ度高血圧」、「Ⅱ度高血圧」、「Ⅲ度高血圧」、「収縮期高血圧」、「不明」に区分している。

まず、男性の臨床診断区分別普段の血圧区分別割合を図30に示す。

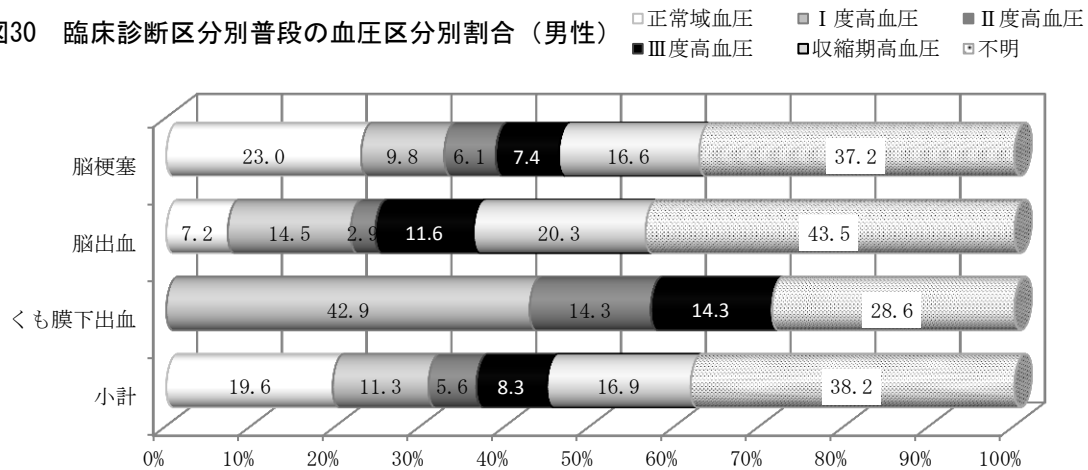
脳梗塞では、「正常域血圧」が68名で23.0%、「Ⅰ度高血圧」は29名9.8%、「Ⅱ度高血圧」は18名6.1%、「Ⅲ度高血圧」は22名7.4%、「収縮期高血圧」は49名16.6%、「不明」が110名37.2%となっている。

脳出血では、「Ⅰ度高血圧」10名14.5%、「Ⅱ度高血圧」2名2.9%、「Ⅲ度高血圧」8名11.3%、「収縮期高血圧」14名20.3%、「不明」が30名43.5%となっている。

くも膜下出血は、「Ⅰ度高血圧」3名42.9%、「Ⅱ度高血圧」「Ⅲ度高血圧」が各1名14.3%ずつ、「不明」が2名28.6%となっている。

いずれも、正常域血圧の者は僅かとなっている。

図30 臨床診断区分別普段の血圧区分別割合（男性）



同じく女性の臨床診断区分別普段の血圧区分別割合を図31に示す。

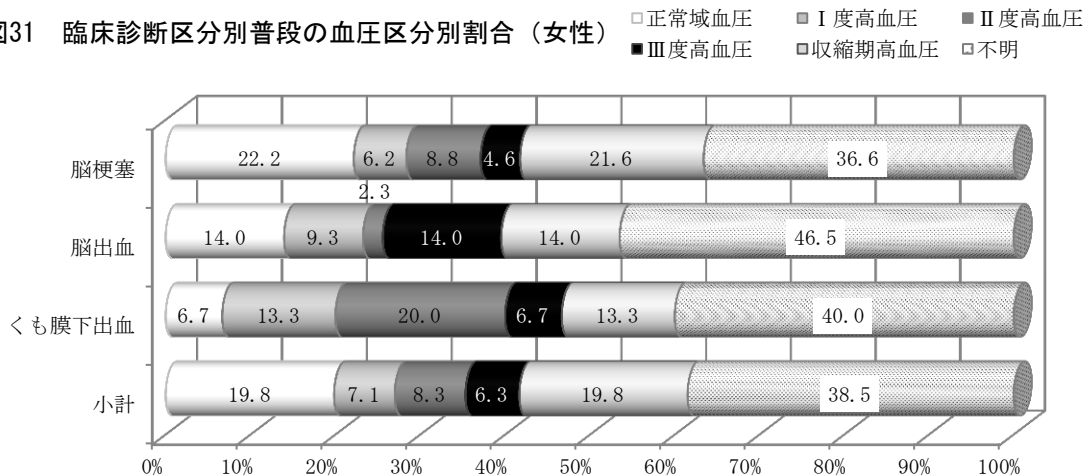
脳梗塞では、「正常域血圧」が43名22.2%、「Ⅰ度高血圧」は12名6.2%、「Ⅱ度高血圧」は17名8.8%、「Ⅲ度高血圧」は9名4.6%、「収縮期高血圧」は42名21.6%、「不明」が71名36.6%となっている。

脳出血では、「正常域血圧」6名14.0%、「Ⅰ度高血圧」4名9.3%、「Ⅱ度高血圧」1名2.3%、「Ⅲ度高血圧」6名14.0%、「収縮期高血圧」6名14.0%、「不明」20名46.5%となっている。

くも膜下出血は、「正常域血圧」及び「Ⅲ度高血圧」各1名6.7%、「Ⅰ度高血圧」「収縮期高血圧」各2名13.3%、「Ⅱ度高血圧」3名20.0%、及び「不明」が6名40.0%となっている。

男性同様、いずれも、正常域血圧の者は僅かとなっている。

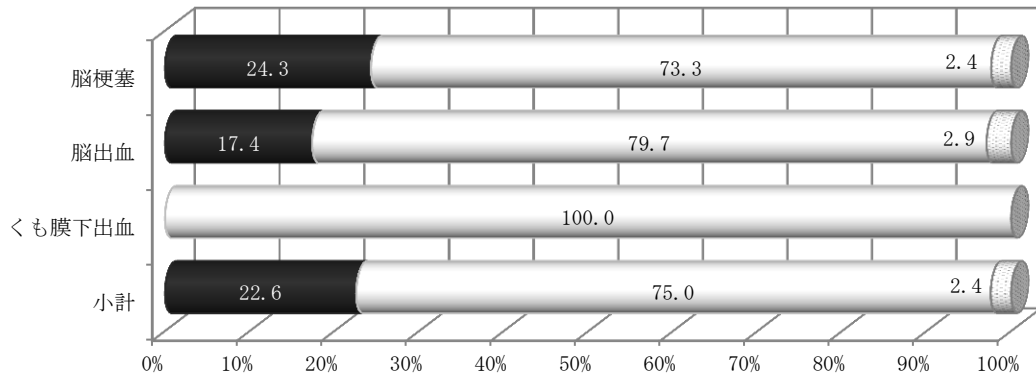
図31 臨床診断区分別普段の血圧区分別割合（女性）



15 性別臨床診断区別糖尿病既往歴

糖尿病既往歴については、「あり」、「なし」、「不明」に区分している。
 男性の臨床診断区別糖尿病既往歴区別割合を図32に示す。
 脳梗塞では72名で24.3%、脳出血は12名17.4%が糖尿病の「既往歴あり」となっている。
 くも膜下出血は、7名すべてで「既往歴なし」となっている。

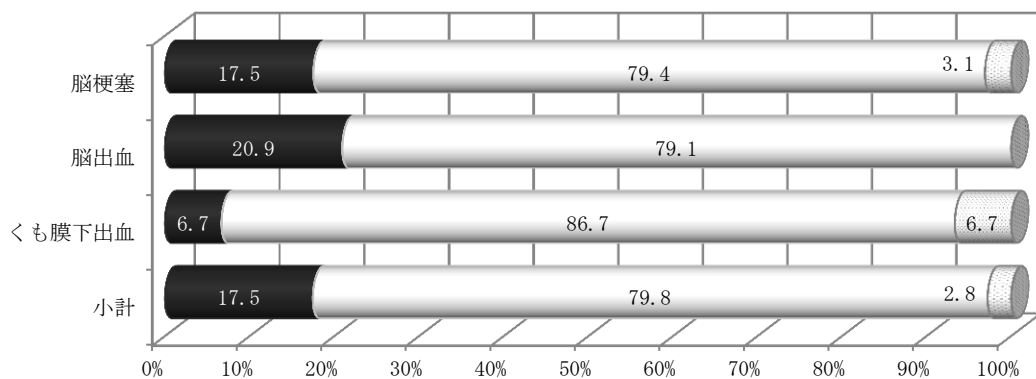
図32 臨床診断区別糖尿病既往歴区別割合（男性） ■あり □なし □不明



参考：特定健診血糖リスクありの割合（H25：40-79気仙・釜石・宮古圏域男性） 55.4%

次に女性の臨床診断区別糖尿病既往歴区別割合を図33に示す。
 脳梗塞では34名で17.5%、脳出血は9名20.9%が糖尿病の「既往歴あり」となっている。
 「不明」は、脳梗塞で6名3.1%となっている。
 くも膜下出血は、1名6.7%で「既往歴あり」となっている。

図33 臨床診断区別糖尿病既往歴区別割合（女性） ■あり □なし □不明



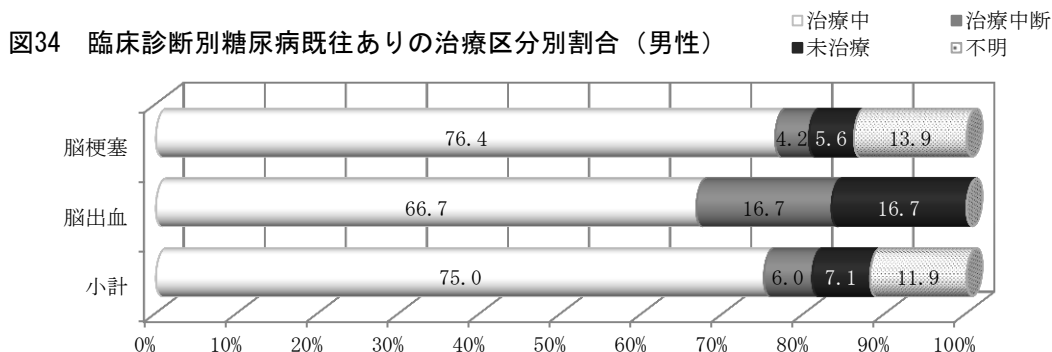
参考：特定健診血糖リスクありの割合（H25：40-79気仙・釜石・宮古圏域女性） 25.2%

15-1 糖尿病既往歴ありの者の治療の状況

15で糖尿病既往歴ありの男性の臨床診断区分別糖尿病治療区分別割合を図34に示す。

今回、脳梗塞となった糖尿病「既往歴あり」の者72名の治療状況は、「治療中」が55名で76.4%、「治療中断」3名4.2%、「未治療」4名5.6%、「不明」10名13.9%となっている。

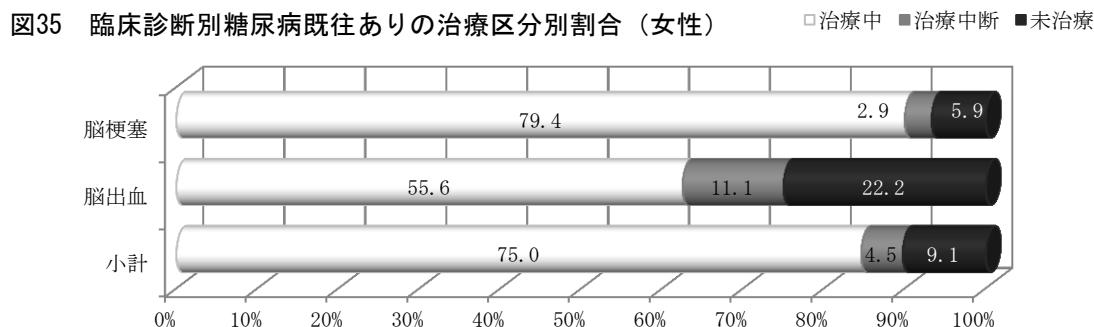
脳出血となった糖尿病「既往歴あり」の者12名の治療状況は、「治療中」が8名66.7%、「治療中断」及び「未治療」が各2名16.7%となっている。



同じく、糖尿病「既往歴あり」女性の臨床診断区分別高血圧治療区分別割合を図35に示す。

今回、脳梗塞となった糖尿病「既往歴あり」の者34名の治療状況は、「治療中」が27名で79.4%、「治療中断」1名2.9%、「不明」4名11.8%となっている。

脳出血となった糖尿病「既往歴あり」の者9名の治療状況は、「治療中」が5名で55.6%、「治療中断」が1名11.1%、「未治療」2名22.2%、不明が1名11.1%となっている。



15-2 性別臨床診断区分別普段の血糖

被調査者の普段の血糖について、「正常」、「保健指導判定値」、「受診勧奨判定値」、「不明」に区分している。

まず、男性の臨床診断区分別普段の血糖区分別割合を図36に示す。

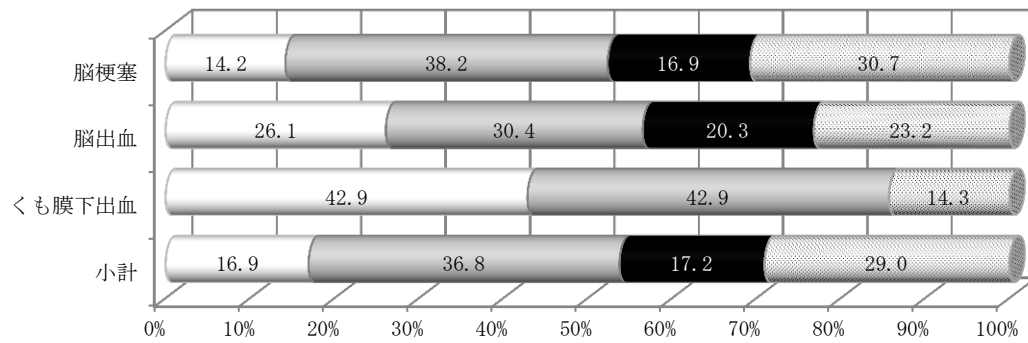
脳梗塞では、「正常」が42名14.2%、「保健指導判定値」が113名38.2%、「受診勧奨判定値」50名16.9%、「不明」91名30.7%となっている。

脳出血では、「正常」が18名26.1%、「保健指導判定値」が21名30.4%、「受診勧奨判定値」14名20.3%、「不明」16名23.2%となっている。

くも膜下出血は、「正常」及び「保健指導判定値」が各3名42.9%ずつとなっている。

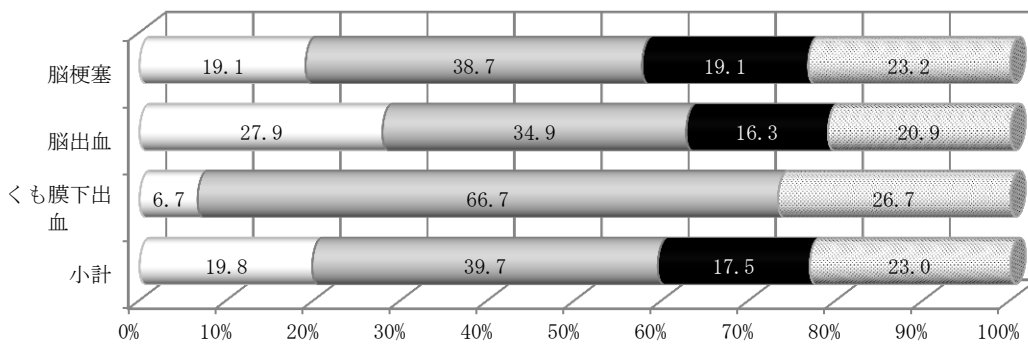
脳梗塞、脳出血では、いずれも、正常域血糖値の者は僅かとなっている。

図36 臨床診断区分別普段の血糖区分別割合（男性） □正常 □保健… ■受診… □不明



同じく女性の臨床診断区分別普段の血糖区分別割合を図37に示す。
 脳梗塞では、「正常」が37名19.1%、「保健指導判定値」が75名38.7%、「受診勧奨判定値」37名19.1%、「不明」45名23.2%となっている。
 脳出血では、「正常」が12名27.9%、「保健指導判定値」が15名34.9%、「受診勧奨判定値」7名16.3%、「不明」1名8.3%となっている。
 くも膜下出血は、「正常」1名6.7%、「保健指導判定値」が10名66.7%、「不明」が4名26.7%となっている。
 いずれも、正常域血圧の者は僅かとなっている。

図37 臨床診断区分別普段の血糖区分別割合（女性） □正常 □保健… ■受診… □不明



16 性別臨床診断区分別脂質異常症既往歴

脂質異常症については、「検査値に異常あり」、「異常なし」、「検査未実施」、「不明」に区分している。

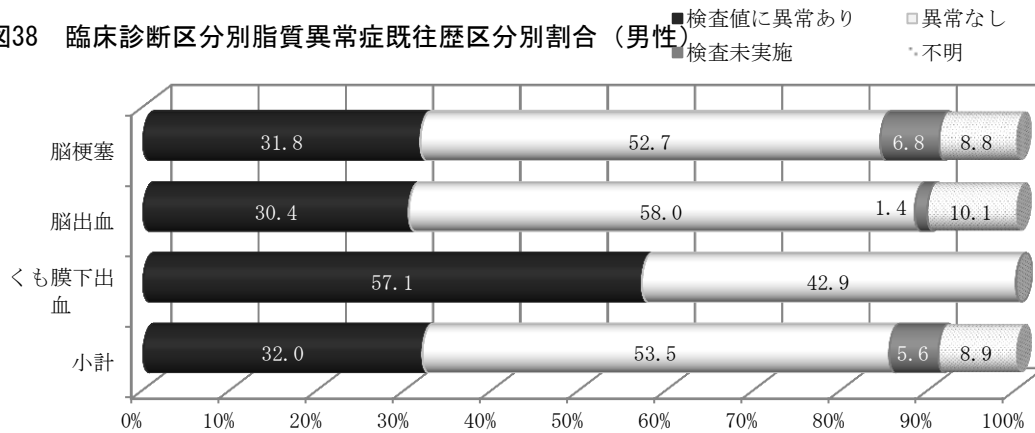
男性の臨床診断区分別脂質異常症既往歴区分別割合を図38に示す。

脳梗塞は、「検査値に異常あり」が94名で31.8%、「異常なし」が156名52.7%、「検査未実施」20名6.8%、「不明」が26名8.8%となっている。

脳出血は、「検査値に異常あり」が21名30.4%、「異常なし」が40名58.0%、「不明」が7名10.1%となっている。

くも膜下出血は、「検査値に異常あり」4名57.1%、「異常なし」が3名42.9%となっている。

図38 臨床診断区別脂質異常症既往歴区別割合（男性）



参考：特定健診脂質リスクありの割合（H25：40-79気仙・釜石・宮古圏域男性） 42.6%

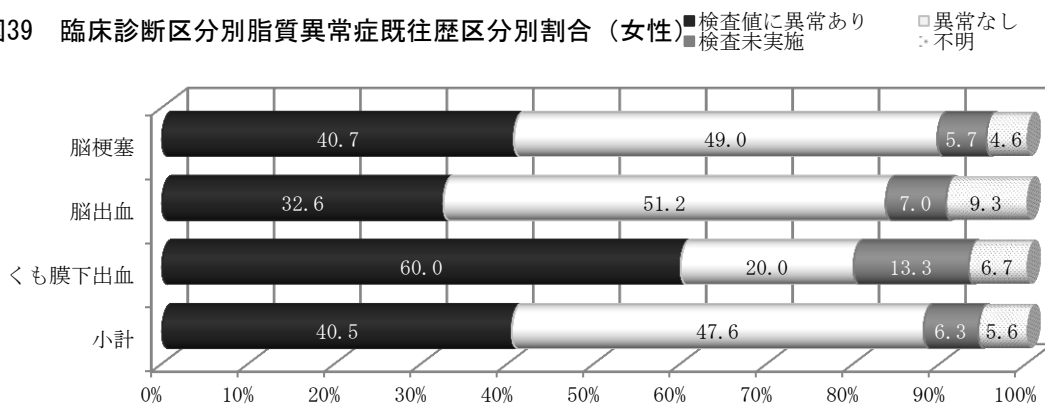
同じく女性の臨床診断区別脂質異常症既往歴区別割合を図39に示す。

脳梗塞は、「検査値に異常あり」が79名で40.7%、「異常なし」が95名49.0%、「検査未実施」11名5.7%、「不明」が9名4.6%となっている。

脳出血は、「検査値に異常あり」が14名32.6%、「異常なし」が22名51.2%、「検査未実施」が3名7.0%となっている。

くも膜下出血は3名は、「検査値に異常あり」9名60.0%、「異常なし」3名20.0%、「未実施」2名13.3%、「不明」1名6.7%となっている。

図39 臨床診断区別脂質異常症既往歴区別割合（女性）



参考：特定健診脂質リスクありの割合（H25：40-79気仙・釜石・宮古圏域女性） 32.2%

16-1 脂質異常症既往歴ありの者の治療の状況

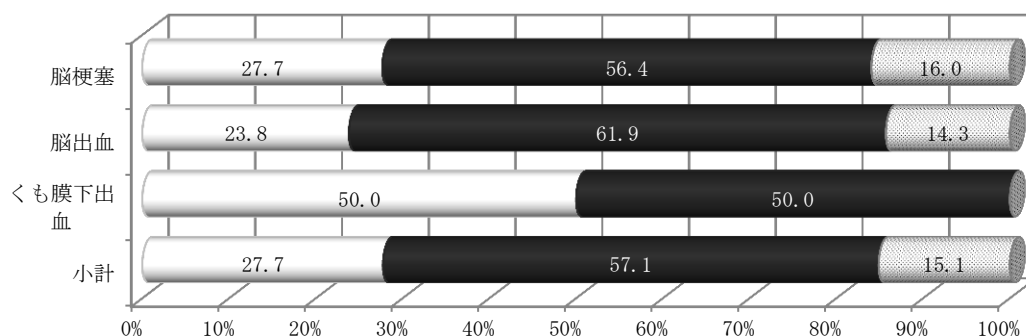
15で脂質異常症既往歴あり男性の臨床診断区別脂質異常症治療区別割合を図40に示す。

今回、脳梗塞となった脂質異常症「検査値に異常あり」の者94名の治療状況は、「治療中」が26名27.7%、「未治療」が53名の56.4%、「不明」が15名16.0%となっている。

脳出血で脂質異常症「検査値に異常あり」の者21名のうち、「治療中」5名23.8%、「未治療」13名61.9%、「不明」3名14.3%となっている。

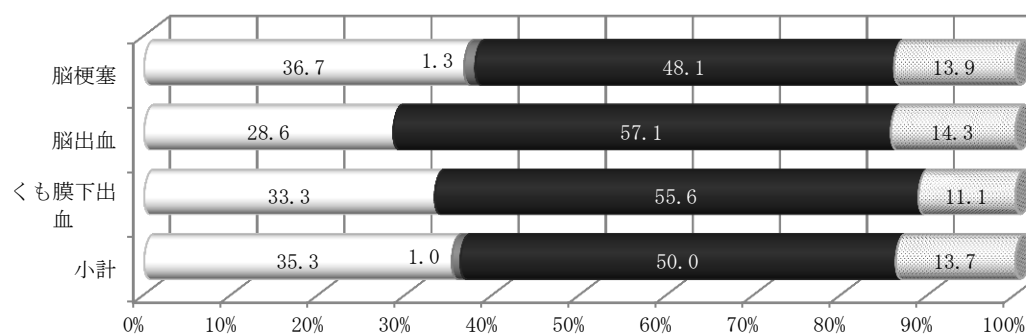
くも膜下で「検査値に異常あり」の者4名のうち、「治療中」「未治療」が各2名50.0%ずつとなっている。

図40 臨床診断別脂質異常症既往ありの治療区分別割合 (男性) □治療中 ■治療中断 ■未治療 □不明



同じく、脂質異常症既往歴あり女性の臨床診断区分別脂質異常症治療区分別割合を図41に示す。
 今回、脳梗塞となった脂質異常症「検査値に異常あり」の者79名の治療状況は、「治療中」が29名36.7%、「治療中断」が1名1.3%、「未治療」が38名48.1%、「不明」が11名13.9%となっている。
 脳出血で脂質異常症「検査値に異常あり」の者14名は、「治療中」4名28.6%、「未治療」8名57.1%、「不明」2名14.3%となっている。
 くも膜下出血で「検査値に異常あり」の者9名の治療状況は、「治療中」3名33.3%、「未治療」5名55.6%、「不明」1名11.1%となっている。

図41 臨床診断別脂質異常症既往ありの治療区分別割合 (女性) □治療中 ■治療中断 ■未治療 □不明

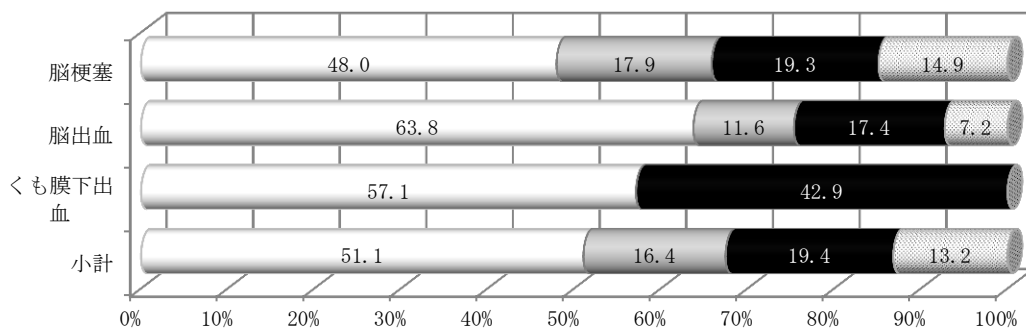


16-2 性別臨床診断区分別初診時のLDLコレステロール

被調査者の初診時のLDLコレステロール値について、「正常」、「保健指導判定値」、「受診勧奨判定値」、「不明」に区分している。

まず、男性の臨床診断区分別初診時のLDLコレステロール区分別割合を図42に示す。
 脳梗塞296名のうち、「正常」は142名48.0%、「保健指導判定値」が53名17.9%、「受診勧奨判定値」57名19.39%、「不明」44名14.9%となっている。
 脳出血69名のうち、「正常」は44名63.8%、「保健指導判定値」が8名11.6%、「受診勧奨判定値」12名17.4%、「不明」5名7.2%となっている。
 くも膜下出血の7名は、「正常」4名57.1%、「受診勧奨判定値」3名42.9%となっている。

図42 臨床診断区分別初診時のLDLコレステロール区分別割合（男性）



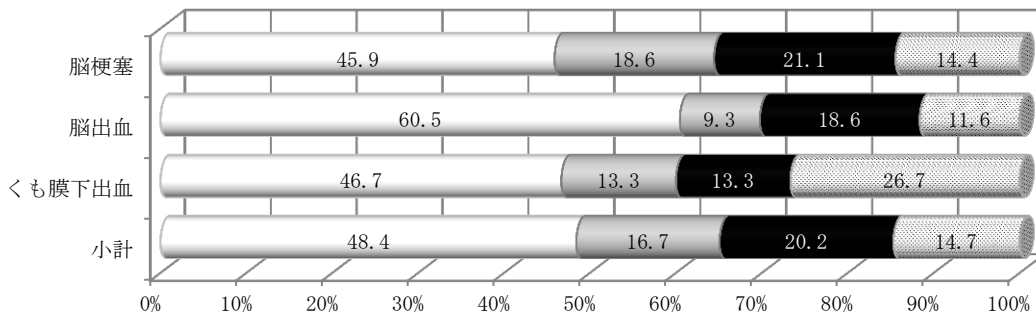
同じく女性の臨床診断区分別初診時のLDLコレステロール区分別割合を図43に示す。

脳梗塞194名のうち、「正常」が89名45.9%、「保健指導判定値」36名18.6%、「受診勧奨判定値」41名21.1%、「不明」が28名14.4%となっている。

脳出血43名のうち、「正常」が26名60.5%、「保健指導判定値」が4名9.3%、「受診勧奨判定値」8名18.6%、「不明」が5名11.6%となっている。

くも膜下出血の15名は、「正常」7名46.7%、「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」が各2名13.3%、「不明」が4名26.7%となっている。

図43 臨床診断区分別初診時のLDLコレステロール区分別割合（女性）



16-3 性別臨床診断区分別初診時のHDLコレステロール

被調査者の初診時のHDLコレステロール値について、「正常」、「保健指導判定値」、「受診勧奨判定値」、「不明」に区分している。

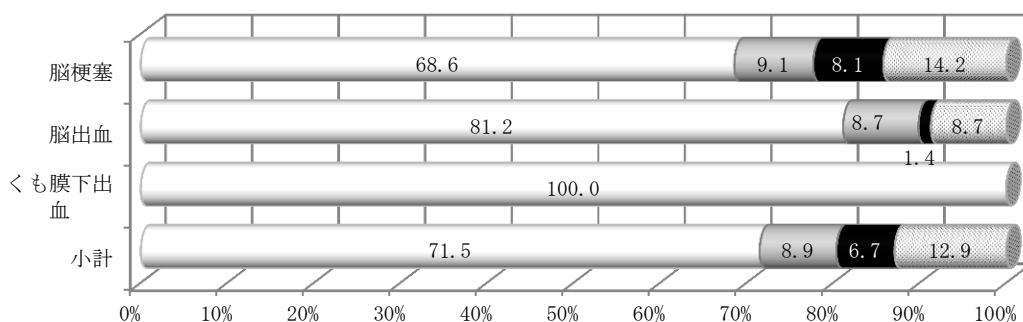
まず、男性の臨床診断区分別初診時のHDLコレステロール区分別割合を図44に示す。

脳梗塞296名のうち、「正常」203名で68.6%、「保健指導判定値」27名9.1%、「受診勧奨判定値」24名8.1%、「不明」42名14.2%となっている。

脳出血69名のうち、「正常」が56名81.2%、「保健指導判定値」が6名8.7%、「受診勧奨判定値」1名1.4%、「不明」6名8.7%となっている。

くも膜下出血の7名は、すべてが「正常」となっている。

図44 臨床診断区分別初診時のHDLコレステロール区分別割合（男性） □正常 ■保健指導判定値 ■受診勧奨判定値 □不明



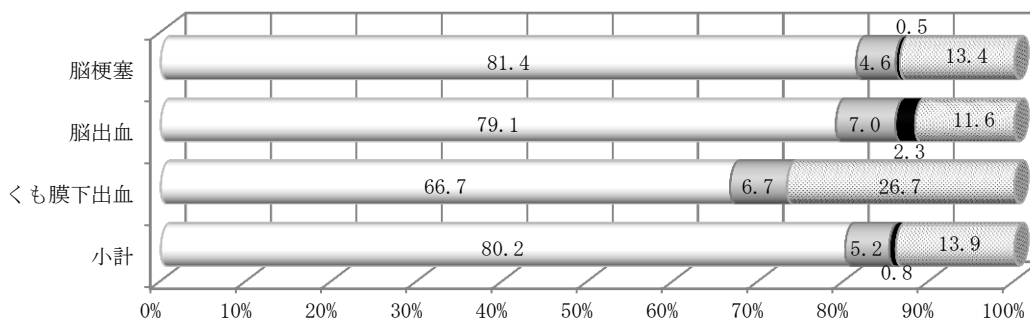
同じく女性の臨床診断区分別初診時のHDLコレステロール区分別割合を図45に示す。

脳梗塞194名のうち、「正常」が89名45.9%、「保健指導判定値」36名18.6%、「受診勧奨判定値」41名21.1%、「不明」28名14.4%となっている。

脳出血43名のうち、「正常」が26名60.5%、「保健指導判定値」が4名9.3%、「受診勧奨判定値」8名18.6%、「不明」が5名11.6%となっている。

くも膜下出血15名は、「正常」が7名46.7%、「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」が各2名13.3%、「不明」4名26.7%となっている。

図45 臨床診断区分別初診時のHDLコレステロール区分別割合（女性） □正常 ■保健指導判定値 ■受診勧奨判定値 □不明



16-4 性別臨床診断区分別初診時のTG（中性脂肪）

被調査者の初診時のTG値について、「正常」、「保健指導判定値」、「受診勧奨判定値」、「不明」に区分している。

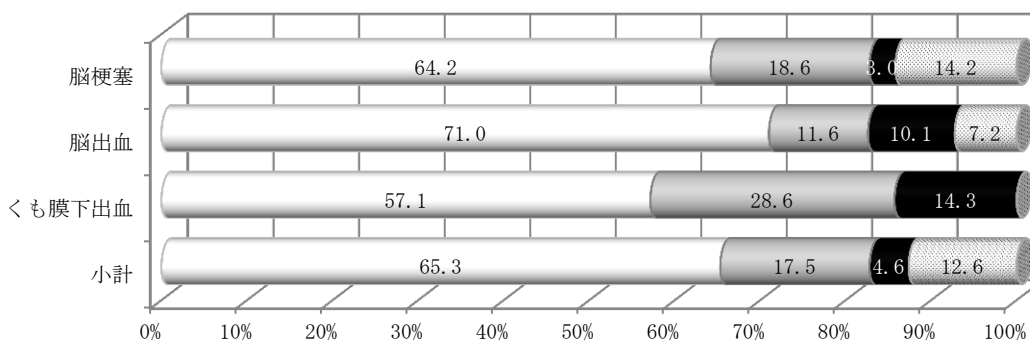
まず、男性の臨床診断区分別初診時のTG区分別割合を図46に示す。

脳梗塞296名のうち、「正常」が190名で64.2%、「保健指導判定値」が55名18.6%、「受診勧奨判定値」9名3.0%、「不明」42名14.2%となっている。

脳出血69名では、「正常」が49名71.0%、「保健指導判定値」8名11.6%、「受診勧奨判定値」7名10.1%、「不明」5名7.2%となっている。

くも膜下出血7名は、「正常」4名57.1%、「保健指導判定値」2名28.6%、「受診勧奨判定値」が1名14.3%となっている。

図46 臨床診断区分別初診時のTG区分別割合（男性） □正常 ■保健指導判定値 ■受診勧奨判定値 □不明



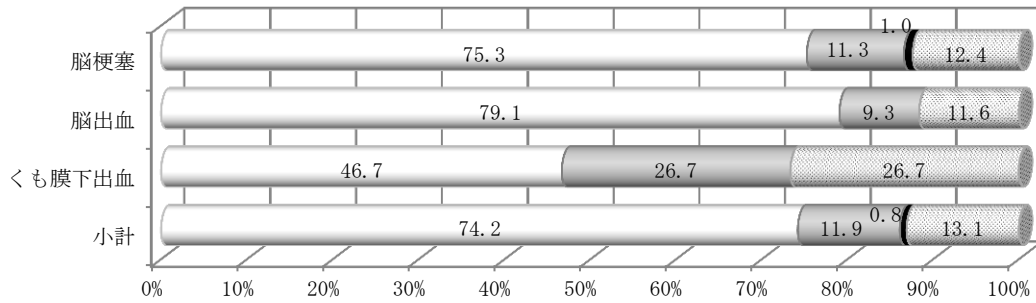
同じく女性の臨床診断区分別初診時のTG区分別割合を図47に示す。女性は、「受診勧奨判定値」の該当者はなしとなっている。

脳梗塞194名では、「正常」が146名で75.3%、「保健指導判定値」が22名11.3%、「受診勧奨判定値」2名1.0%、「不明」が24名12.4%となっている。

脳出血43名では、「正常」が34名79.1%、「保健指導判定値」4名9.3%、「不明」5名11.6%となっている。

くも膜下出血15名は、「正常」が7名46.7%、「保健指導判定値」4名26.7%、「不明」4名26.7%となっている。

図47 臨床診断区分別初診時のTG区分別割合（女性） □正常 □保健指導判定値 ■受診勧奨判定値 □不明



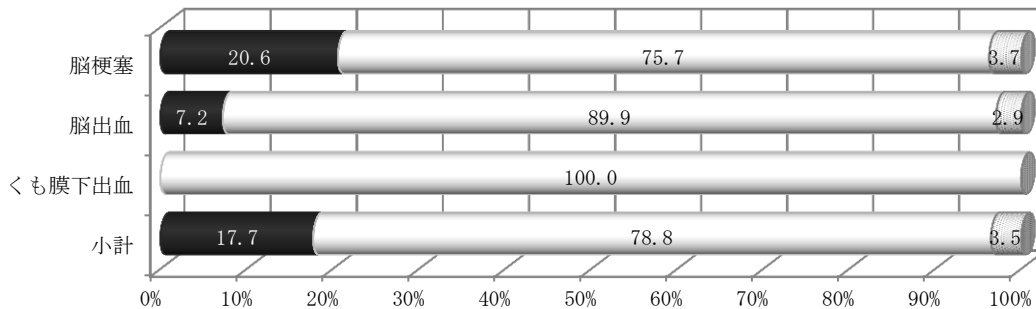
17 性別臨床診断区分別心疾患既往歴

心疾患の既往については、「心房細動あり」、「なし」、「不明」に区分している。

男性の臨床診断区分別心疾患既往歴区分別割合を図48に示す。

「心房細動あり」は、脳梗塞で61名20.6%、脳出血で5名7.2%となっている。

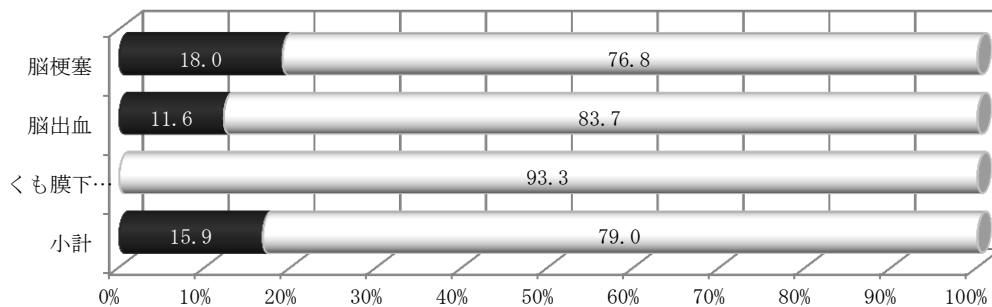
図48 臨床診断区分別心疾患既往歴区分別割合（男性） ■心房細動あり □なし □不明



同じく女性の臨床診断区分別心疾患既往歴区分別割合を図49に示す。

「心房細動あり」は、脳梗塞で35名18.0%、脳出血で5名11.6%となっている。

図49 臨床診断区分別心疾患既往歴区分別割合（女性） ■心房細動あり □なし

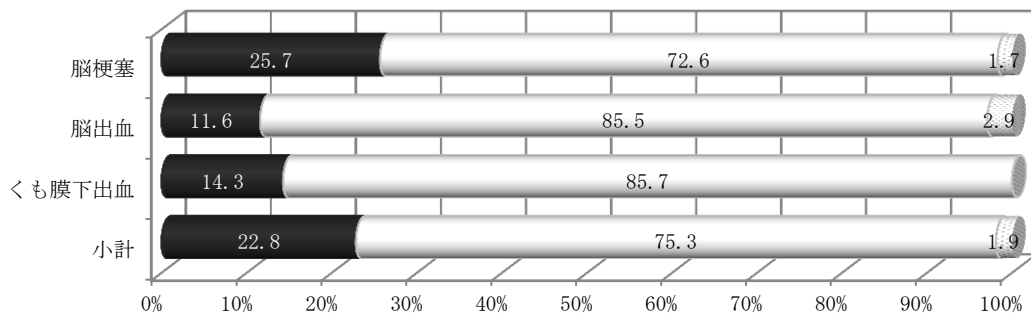


18 性別臨床診断区別抗凝固療法使用の有無

男性の臨床診断区別抗凝固療法使用有無別の割合を図50に示す。

「使用あり」は、脳梗塞76名25.7%、脳出血8名11.6%、くも膜下1名14.3%となっている。

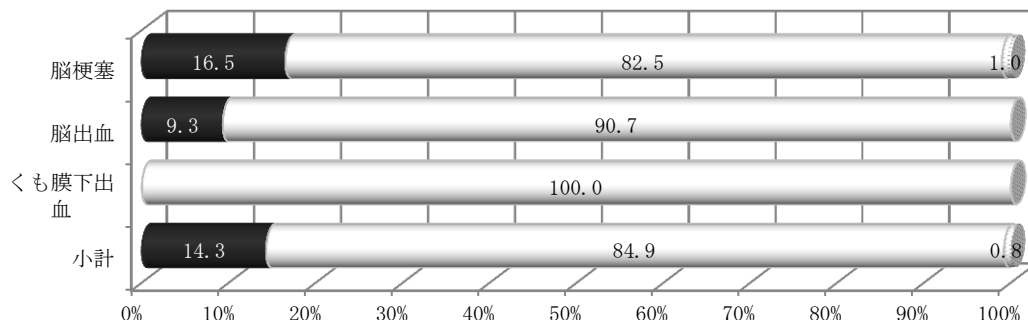
図50 臨床診断区別抗凝固療法使用有無別割合（男性） ■あり □なし ○不明



同じく女性の臨床診断区別抗凝固療法使用有無別の割合を図51に示す。

「使用あり」は、脳梗塞で32名16.5%、脳出血が4名9.3%となっている。

図51 臨床診断区別抗凝固療法使用有無別割合（女性） ■あり □なし ○不明



19 性別臨床診断区別転帰

発症後の転帰は、「症状なし」、「通常の日常生活活動は可能」、「以前の活動はできないが介助なしに歩行可」、「介助は必要だが介助なしに歩行可」、「介助なしで日常生活を行うのが困難」、「寝たきり、常に看護や注意が必要」、「死亡」、「不明」に区分される。

まず、脳梗塞の転帰区別割合について、男性を図52に、女性を図53に示す。

男性では、「症状なし」が38名12.8%、「通常の日常生活活動は可能」が59名19.9%、「以前の活動はできないが介助なしに歩行可」57名19.3%、「介助は必要だが介助なしに歩行可」53名17.9%、「介助なしで日常生活を行うのが困難」36名12.2%、「寝たきり、常に看護や注意が必要」29名9.8%、「死亡」18名6.1%、「不明」6名2.0%となっている。

女性では、「症状なし」が17名8.8%、「通常の日常生活活動は可能」が42名21.6%、「以前の活動はできないが介助なしに歩行可」26名13.4%、「介助は必要だが介助なしに歩行可」23名11.9%、「介助なしで日常生活を行うのが困難」39名20.1%、「寝たきり、常に看護や注意が必要」36名18.6%、「死亡」7名3.6%、「不明」4名2.0%となっている。

「症状なし」、「通常の日常生活活動は可能」及び「以前の活動はできないが介助なしに歩行可」を「自立」とした場合、その割合は男性が52.0%、女性が43.8%となっている。男性39.9%、女性50.6%が「要介助」や「寝たきり」となっている。

図52 脳梗塞の転帰（男性）

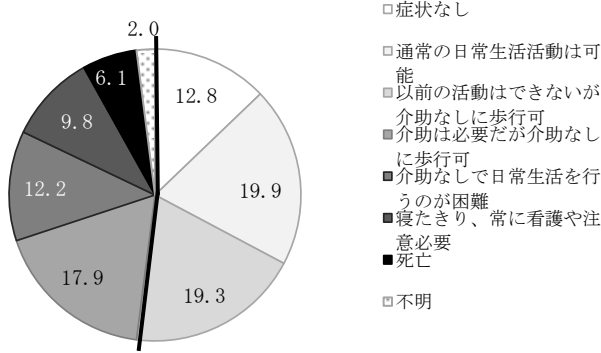
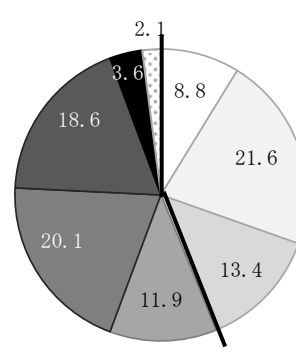


図53 脳梗塞の転帰（女性）



次に、脳出血の転帰区分別割合について、男性を図54に、女性を図55に示す。

男性では、「症状なし」4名5.8%、「通常の日常生活活動は可能」9名13.0%、「以前の活動はできないが介助なしに歩行可」8名11.6%、「介助は必要だが介助なしに歩行可」13名18.8%、「介助なしで日常生活を行うのが困難」14名20.3%、「寝たきり、常に看護が必要」12名17.4%、「死亡」8名11.6%、「不明」1名1.4%となっている。

女性では、「症状なし」が1名2.3%、「通常の日常生活活動は可能」及び「以前の活動はできないが介助なしに歩行可」が各3名7.0%ずつ、「介助は必要だが介助なしに歩行可」6名14.0%、「介助なしで日常生活を行うのが困難」11名25.6%、「寝たきり、常に看護や注意が必要」10名23.3%、「死亡」が8名18.6%、「不明」1名2.3%となっている。

「自立」は、男性が30.4%、女性は僅かに16.3%となっている。男性56.5%、女性62.9%が「要介助」や「寝たきり」となっている。

図54 脳出血の転帰（男性）

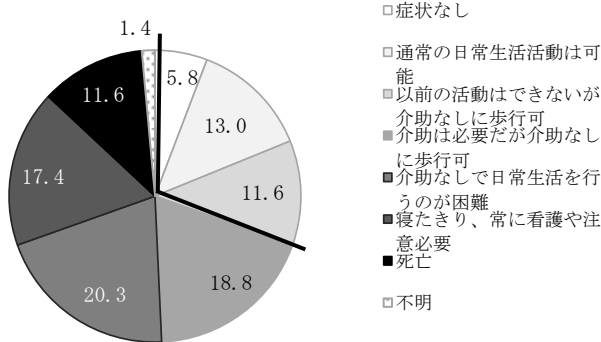
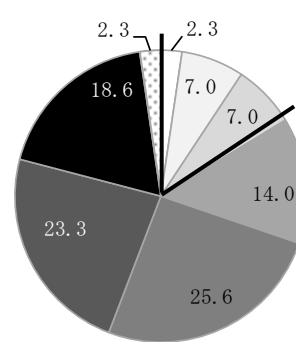


図55 脳出血の転帰（女性）



くも膜下出血については、男性7名の内訳として、「通常の日常生活活動は可能」1名14.3%、「介助は必要だが介助なしに歩行可」2名28.6%、「介助なしで日常生活を行うのが困難」3名42.9%、「寝たきり、常に看護や注意が必要」1名14.3%となっている。女性15名の内訳として、「症状なし」1名6.7%、「通常の日常生活活動は可能」4名20.0%、「以前の活動はできないが介助なしに歩行可」2名13.3%、「介助は必要だが介助なしに歩行可」及び「介助なしで日常生活を行うのが困難」が各1名6.7%、「寝たきり、常に看護や注意が必要」及び「死亡」が各3名20.0%ずつとなっている。

19-1 発症から受診までの時間区分別転帰

発症後の転帰について、「自立」、「介護や寝たきり」、「死亡」、「不明」に区分し、発症から受診までの時間区別に、脳梗塞総数を図56に、脳出血総数を図57に示す。

脳梗塞では、受診まで3時間が「自立」59名44.7%、「介護や寝たきり」71名53.8%、24時間以内が「自立」88名46.1%、「介護や寝たきり」98名51.3%、3日以内が「自立」62名65.3%、「介護や寝たきり」32名33.7%、4日以上が「自立」29名63.0%、「介護や寝たきり」15名63.6%となっている。

脳出血では、受診まで3時間が「自立」10名19.6%、「介護や寝たきり」39名76.5%、24時間以内が「自立」9名30.0%、「介護や寝たきり」21名70.0%、3日以内が「自立」4名44.4%、「介護や寝たきり」4名44.4%、4日以上が「自立」5名71.0%、「介護や寝たきり」2名28.6%となっている。

図56 発症から受診までの時間区分別脳梗塞の転帰の状況 □自立 ■介護・寝たきり ■死亡 □不明

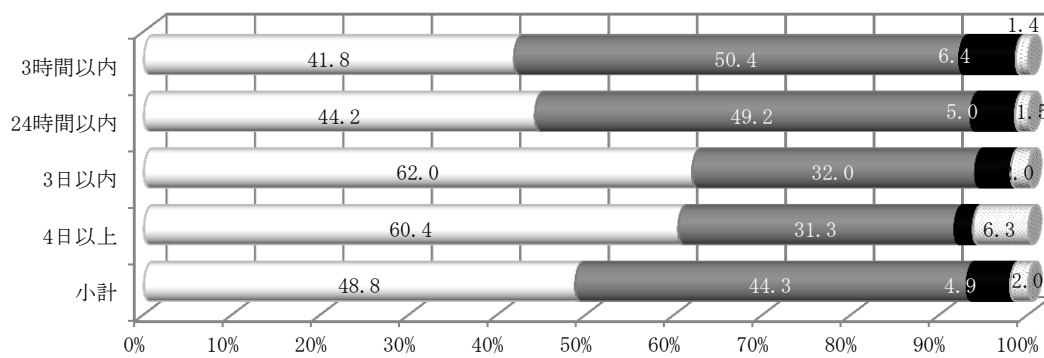
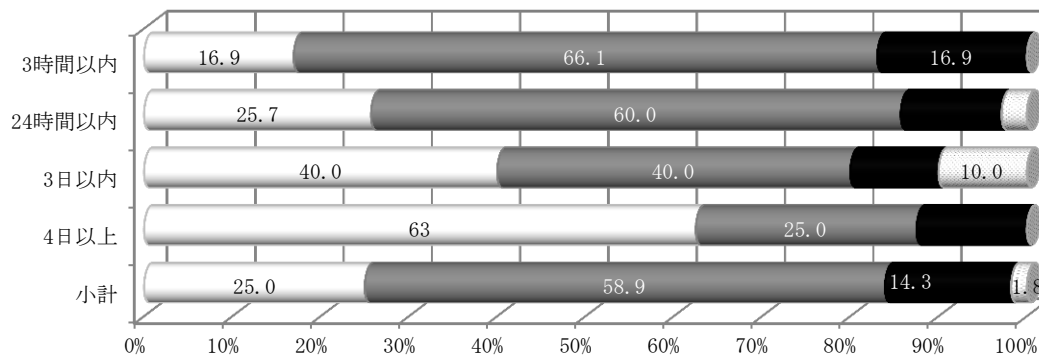


図57 発症から受診までの時間区分別脳出血の転帰の状況 □自立 ■介護・寝たきり ■死亡 □不明



20 性別臨床診断区分別退院後の状況

退院後の状況については、「在宅」、「転院」、「施設入所」、「不明」に区分される。

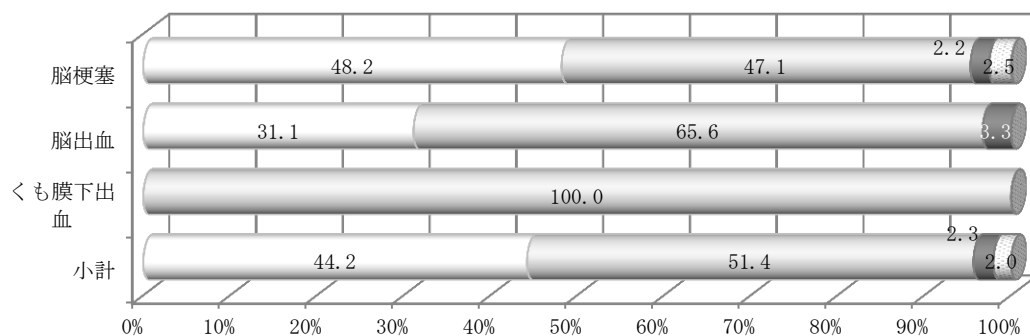
19から「死亡」を除いた男性の臨床診断区分別退院後の状況別割合を図58に示す。

脳梗塞は、「在宅」が134名48.2%、「転院」が131名47.1%、「施設入所」が6名2.2%、「不明」が7名2.5%となっている。

脳出血は、「在宅」が19名31.1%、「転院」が40名65.6%、「施設入所」が2名3.3%となっている。

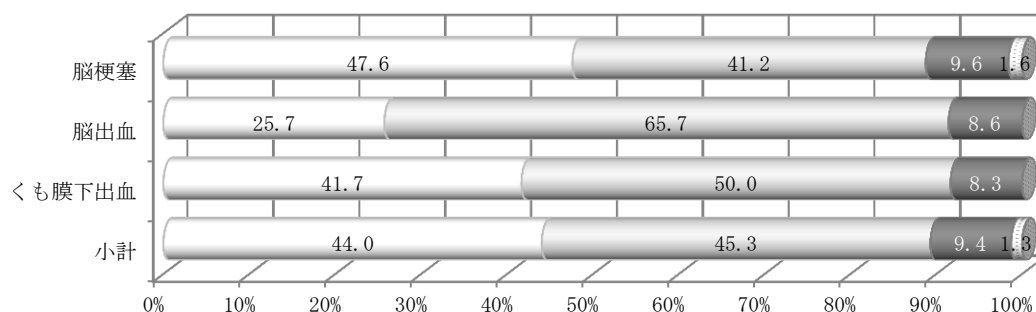
くも膜下出血の7名は、すべて「転院」となっている。

図58 臨床診断区分別退院後の状況別割合（男性） □在宅 ■転院 ■施設入所 □不明



同じく女性の臨床診断区分別退院後の状況別割合を図59に示す。
 脳梗塞は、「在宅」が89名47.6%、「転院」が77名41.2%、「施設入所」18名9.6%、「不明」3名1.6%となっている。
 脳出血は、「在宅」が9名25.7%、「転院」が23名65.7%、「施設入所」3名8.6%となっている。
 くも膜下出血は、「在宅」5名41.7%、「転院」6名50.0%、「施設入所」1名8.3%となっている。

図59 臨床診断区分別退院後の状況別割合（女性） □在宅 ■転院 ■施設入所 □不明



21 性別臨床診断区分別体格

体格については、被調査者の身長と体重からBMIを算出し、18.5未満を「やせ」、18.5以上25未満を「ふつう」、25以上を「肥満」とし、身長や体重がわからなかった者を「不明」として区分している。

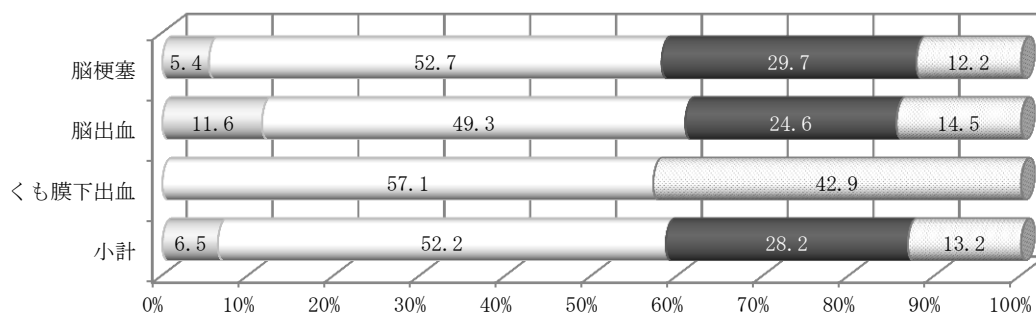
男性の臨床診断区分別体格の状況別割合を図60に示す。

脳梗塞は、「やせ」が16名で5.4%、「ふつう」が156名52.7%、「肥満」が88名29.7%、「不明」が36名12.2%となっている。

脳出血は、「やせ」が8名11.6%、「ふつう」34名49.3%、「肥満」17名24.6%、「不明」が10名14.5%となっている。

くも膜下出血の7名は、「ふつう」4名57.1%、「不明」3名42.9%となっている。

図60 臨床診断区分別体格の状況別割合（男性） ■やせ □ふつう ■肥満 □不明



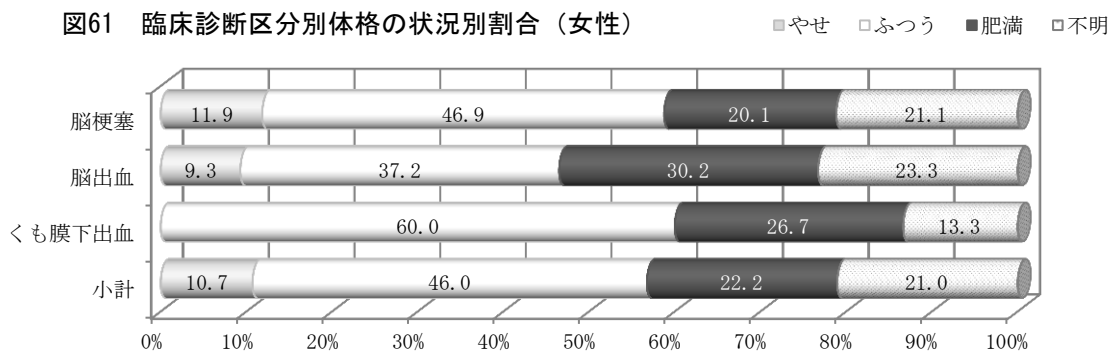
同じく女性の臨床診断区分別体格の状況別割合を図61に示す。

脳梗塞は、「やせ」が23名11.9%、「ふつう」が91名46.9%、「肥満」が39名20.1%、「不明」が41名21.1%となっている。

脳出血は、「やせ」4名9.3%、「ふつう」が16名37.2%、「肥満」は13名30.2%、「不明」10名23.3%となっている。

くも膜下出血は、「ふつう」が9名60.0%、「肥満」4名26.7%、「不明」2名13.3%となっている。

図61 臨床診断区分別体格の状況別割合（女性）



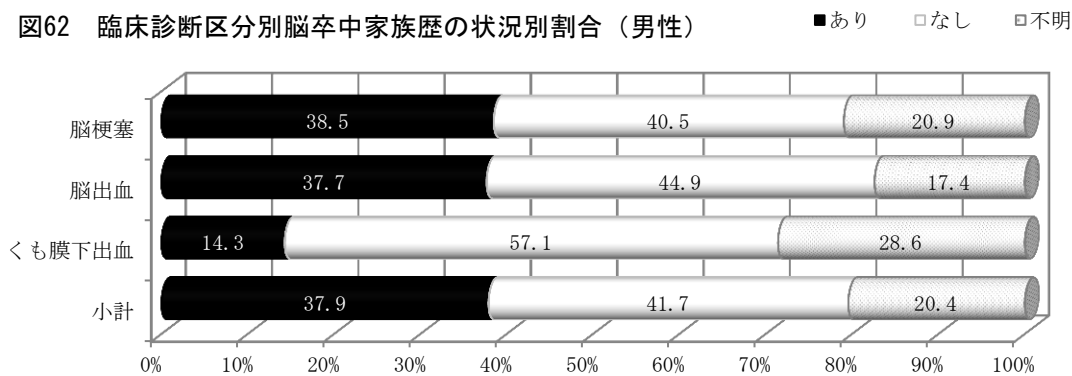
22 性別臨床診断区分別直系2親等以内の脳卒中家族歴

男性の臨床診断区分別脳卒中家族歴有無の状況別割合を図62に示す。

「家族歴あり」と答えた者は、脳梗塞で114名38.5%、脳出血で26名37.7%、くも膜下で1名14.3%となっている。

「不明」は、脳梗塞で62名20.9%、脳出血で12名17.4%、くも膜下で2名28.6%となっている。

図62 臨床診断区分別脳卒中家族歴の状況別割合（男性）

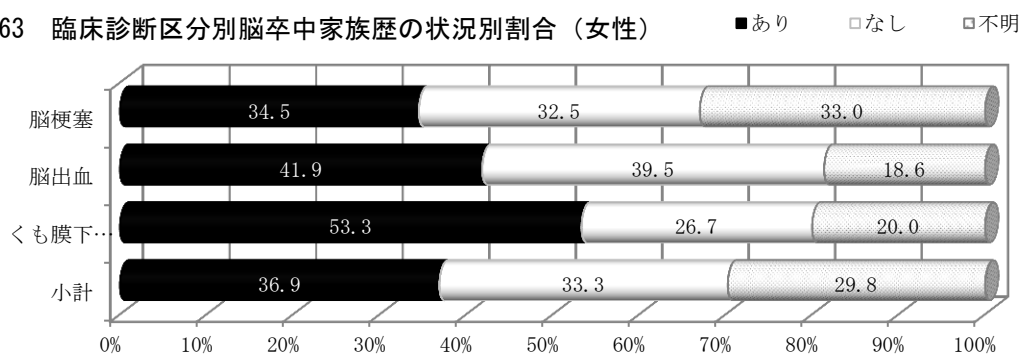


同じく女性の臨床診断区分別家族歴の状況別割合を図63に示す。

「家族歴あり」と答えた者は、脳梗塞で67名34.5%、脳出血で18名41.9%、くも膜下出血が3名53.3%となっている。

「不明」は、脳梗塞で64名33.0%、脳出血で8名18.6%、くも膜下出血が3名20.0%となっている。

図63 臨床診断区分別脳卒中家族歴の状況別割合（女性）

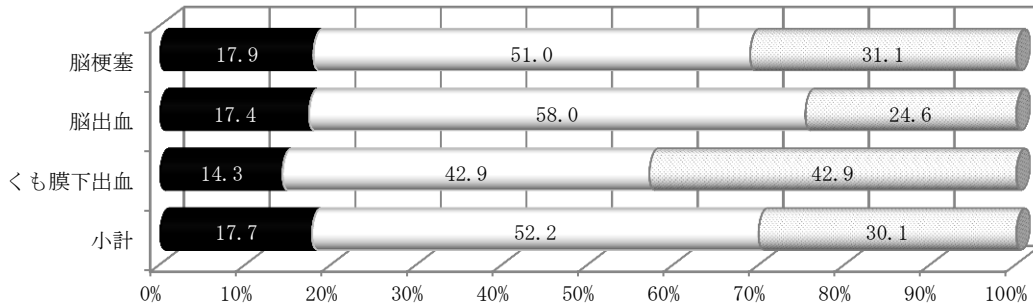


23 性別臨床診断区分別直系2親等以内心疾患家族歴

男性の臨床診断区分別心疾患家族歴の状況別割合を図64に示す。

「家族歴あり」と答えた者は、「脳梗塞」で53名17.9%、「脳出血」が12名17.4%、「くも膜下出血」が1名14.3%となっている。「不明」は、「脳梗塞」が92名31.1%、「脳出血」が17名24.6%となっている。

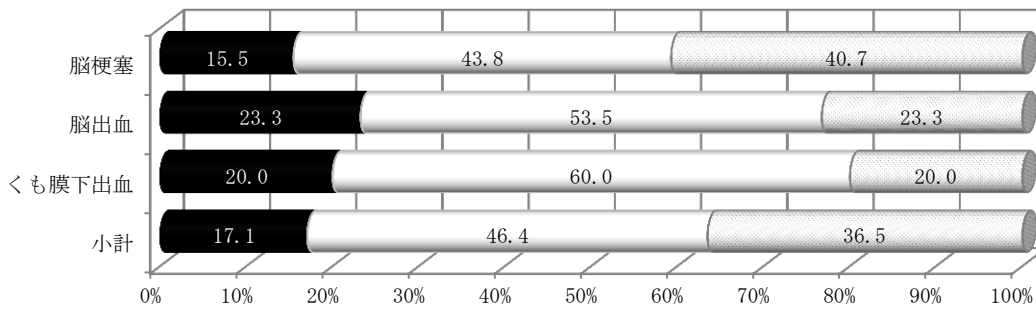
図64 臨床診断区分別心疾患家族歴の状況別割合（男性） ■あり □なし □不明



同じく女性の臨床診断区分別心疾患家族歴の状況別割合を図65に示す。

「家族歴あり」と答えた者は、「脳梗塞」で30名15.5%、「脳出血」で10名23.3%、「くも膜下出血」で3名20.0%となっている。「不明」は、「脳梗塞」で79名40.7%、「脳出血」で10名23.3%、「くも膜下出血」で3名20.0%となっている。

図65 臨床診断区分別心疾患家族歴の状況別割合（女性） ■あり □なし □不明

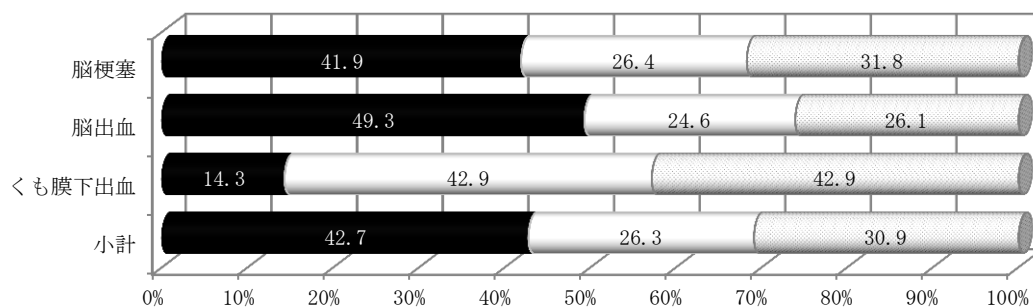


24 性別臨床診断区分別高血圧家族歴

男性の臨床診断区分別高血圧家族歴の状況別割合を図66に示す。

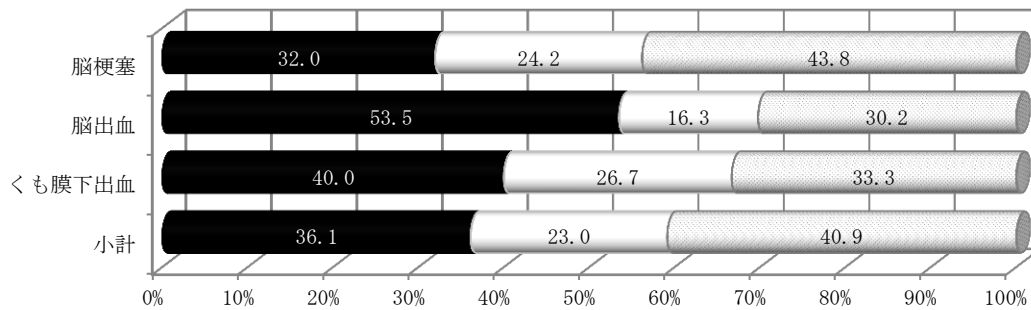
「家族歴あり」と答えた者は、「脳梗塞」で124名41.9%、「脳出血」で34名49.3%、「くも膜下出血」で1名14.3%となっている。「不明」は、「脳梗塞」で94名31.8%、「脳出血」で18名26.1%、「くも膜下出血」3名42.9%となっている。

図66 臨床診断区分別高血圧家族歴の状況別割合（男性） ■あり □なし □不明



同じく女性の臨床診断区分別高血圧家族歴の状況別割合を図67に示す。
 「家族歴あり」と答えた者は、「脳梗塞」で62名32.0%、「脳出血」で23名53.5%、「くも膜下出血」で6名40.0%となっている。「不明」は、「脳梗塞」で85名43.8%、「脳出血」で13名30.2%、「くも膜下出血」で5名33.3%となっている。

図67 臨床診断区分別高血圧家族歴の状況別割合（女性） ■あり □なし □不明

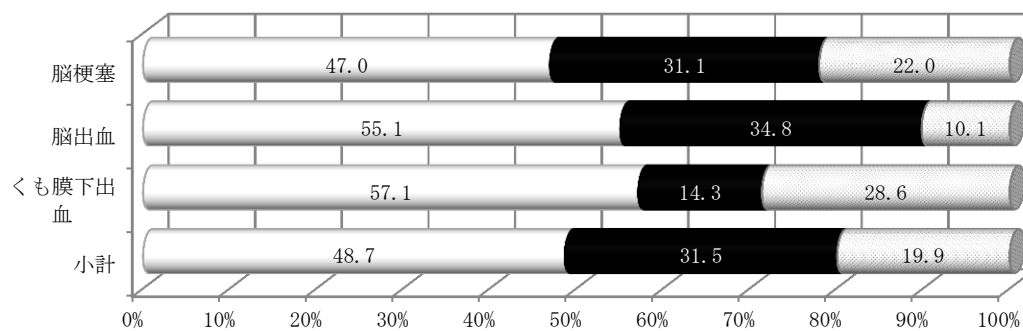


25 性別臨床診断区分別過去2年以内の健診受診状況

男性の臨床診断区分別健診受診状況別割合を図68に示す。

「未受診」は、「脳梗塞」92名31.1%、「脳出血」24名34.8%、「くも膜下」1名14.3%となっている。「不明」は、「脳梗塞」65名22.0%、「脳出血」7名10.1%、「くも膜下」2名28.6%となっている。

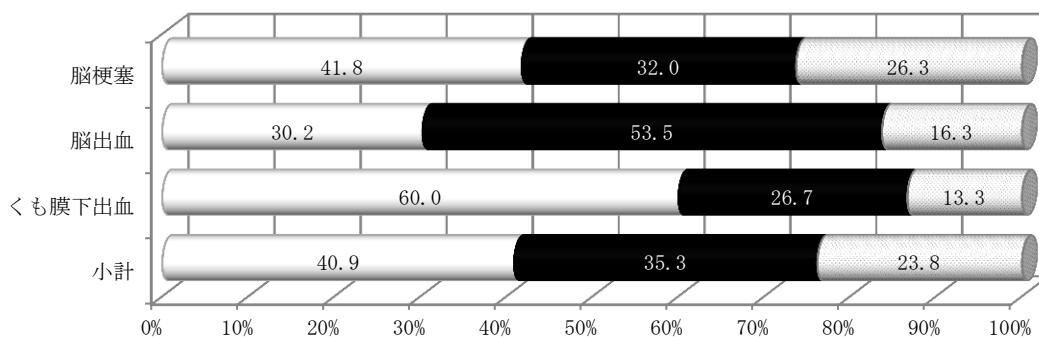
図68 臨床診断区分別健診受診状況別割合（男性） □受診した ■未受診 □不明



同じく女性の臨床診断区分別健診受診状況別割合を図69に示す。

「未受診」は、「脳梗塞」62名32.0%、「脳出血」23名53.5%、「くも膜下出血」4名26.7%となっている。「不明」は、「脳梗塞」51名26.3%、「脳出血」7名16.3%、「くも膜下」2名13.3%となっている。

図69 臨床診断区分別健診受診状況別割合（女性） □あり ■なし □不明



26 性別臨床診断区分別本人の喫煙状況

喫煙の状況については、「吸っている」、「過去に吸っていた」、「吸わない」、「不明」に区分している。

男性の臨床診断区分別本人の喫煙状況別割合を図70に示す。

「脳梗塞」では、「吸っている」82名27.7%、「過去に吸っていた」116名39.2%、「吸わない」88名29.7%、「不明」10名3.4%となっている。

「脳出血」では、「吸っている」25名36.2%、「過去に吸っていた」20名29.0%、「吸わない」21名30.4%となっている。

「くも膜下出血」では、「吸っている」2名28.6%、「過去に吸っていた」3名42.9%、「吸わない」及び「不明」が各1名14.3%ずつとなっている。全体の「吸っている」「過去に吸っていた」を合わせると、かなり高割合となる。

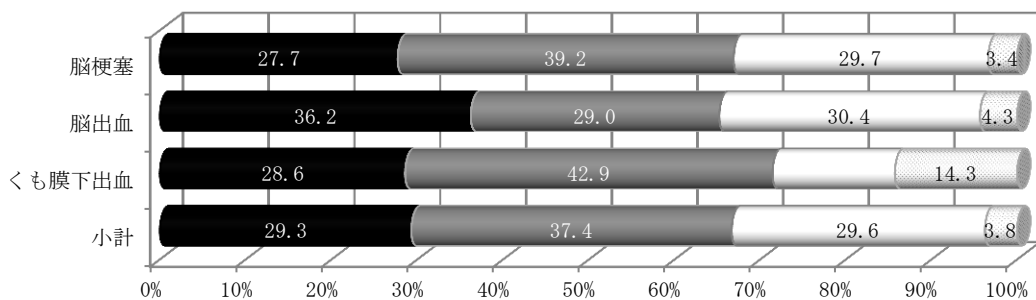
次に、女性の臨床診断区分別本人の喫煙状況別割合を図71に示す。

「脳梗塞」では、「吸っている」14名7.2%、「過去に吸っていた」13名6.7%、「吸わない」148名76.3%、「不明」19名9.8%となっている。

「脳出血」では、「吸っている」2名4.7%、「過去に吸っていた」3名7.0%、「吸わない」37名86.0%、「不明」が1名2.3%となっている。

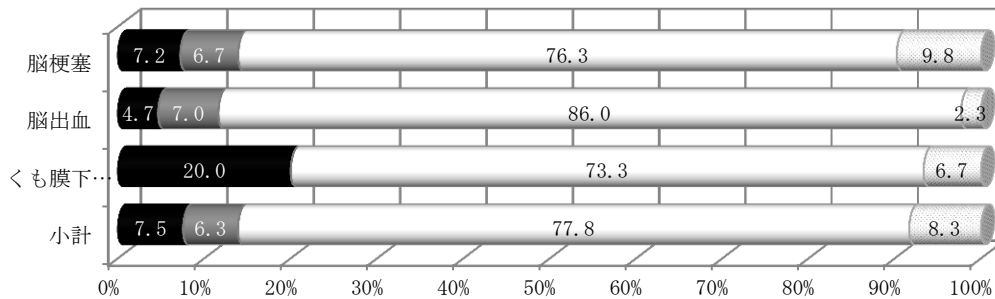
「くも膜下出血」では、「吸っている」3名20.0%、「吸わない」11名73.3%、「不明」が1名6.7%となっており3名全員が「吸わない」に回答している。

図70 臨床診断区分別本人の喫煙状況別割合（男性） ■吸っている ■過去に吸っていた □吸わない □不明



参考：特定健診喫煙ありの割合（H25：40-79気仙・釜石・宮古圏域男性） 40.8%

図71 臨床診断区分別本人の喫煙状況別割合（女性） ■吸っている ■過去に吸っていた □吸わない □不明



参考：特定健診喫煙ありの割合（H25：40-79気仙・釜石・宮古圏域女性） 7.4%

26-1 26で「吸っている」及び「過去に吸っていた」と答えた者の性別臨床診断区分別本人の喫煙本数の状況

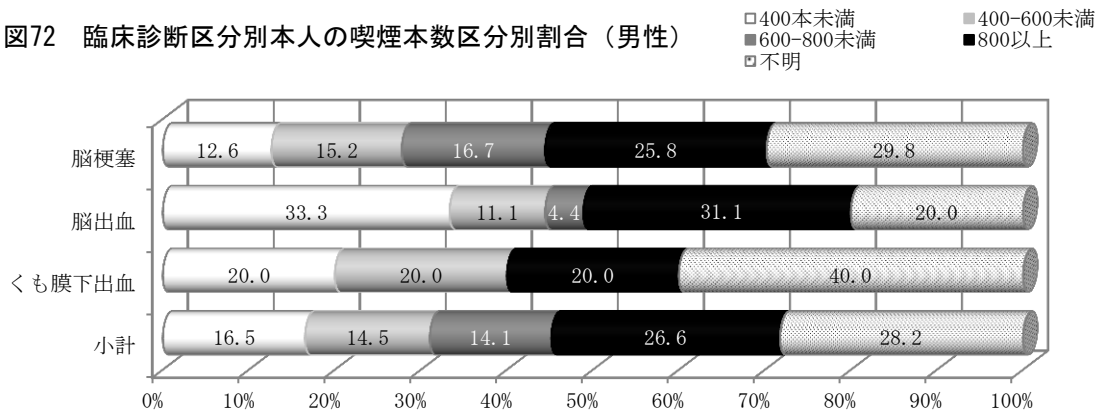
26で「吸っている」及び「過去に吸っていた」と答えた者の喫煙本数（1日の本数×年数）について、「400本未満」、「400本以上600本未満」、「600本以上800本未満」、「800本以上」に区分し、男性の臨床診断区分別割合を図72に示す。

「脳梗塞」では、「400本未満」が25名12.6%、「400本以上600本未満」が30名15.2%、「600本以上800本未満」が33名16.7%、「800本以上」が51名25.8%、「不明」が59名29.8%となっている。

「脳出血」では、「400本未満」15名33.3%、「400本以上600本未満」5名11.1%、「800本以上」14名31.1%、「不明」が9名20.0%となっている。

「くも膜下出血」では、「400本未満」及び「400本以上600本未満」「800本以上」が各1名20.0%ずつ、「不明」が2名40.0%となっている。

図72 臨床診断区分別本人の喫煙本数区分別割合（男性）



同じく「吸っている」及び「過去に吸っていた」と答えた女性の臨床診断区分別本人の喫煙本数の状況については、「脳梗塞」27名のうち、「400本未満」が13名48.1%、「不明」10名37.0%となっており、「脳出血」5名では、「400本未満」が1名20.0%、「不明」が4名80.0%、「くも膜下」3名で「400本未満」「600本以上800本未満」「不明」が各1名33.3%となっている。

26-2 26で「過去に吸っていた」と答えた者のやめた理由

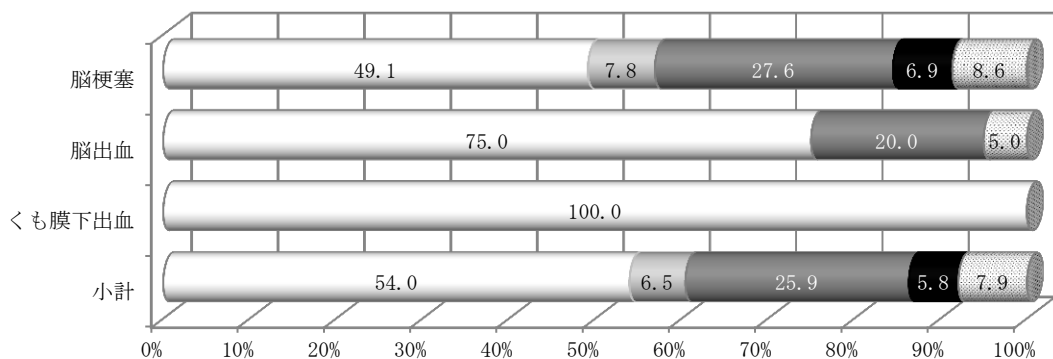
26で「過去に吸っていた」と答えた者の喫煙をやめた理由について、「自分から」、「誰かに言われて」、「病気のため」、「その他」、「不明」に区分し、男性の臨床診断区分別割合を図73に示す。

「脳梗塞」116名では、「自分から」が57名49.1%、「誰かに言われて」が9名7.8%、「病気のため」が32名27.6%、「その他」8名6.9%、「不明」10名8.6%となっている。

「脳出血」20名では、「自分から」が15名75.0%、「病気のため」が4名20.0%、「不明」1名5.0%となっている。

「くも膜下出血」の3名は、全て「自分から」に回答している。

図73 臨床診断区分別喫煙をやめた理由（男性）



女性は、「脳梗塞」13名のうち、「自分から」が6名46.2%、「病気のため」が3名23.1%となっており、「脳出血」3名では、「誰かに言われて」及び「その他」「不明」が各1名33.3%ずつとなっている。

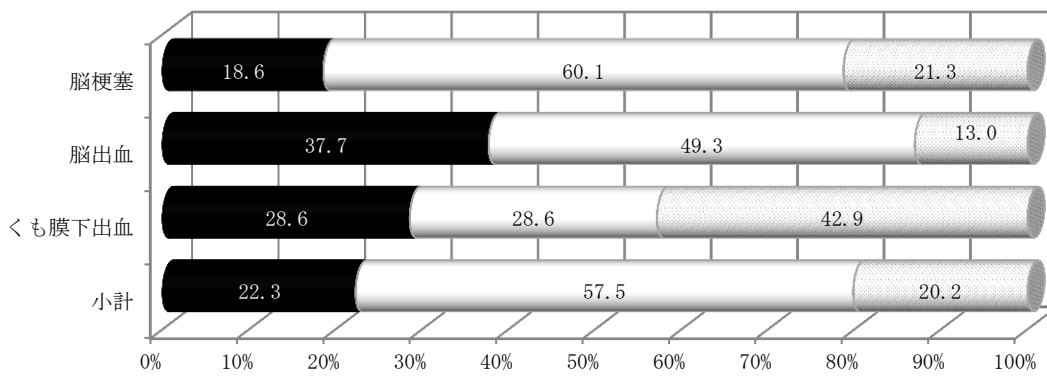
27 性別臨床診断区分別同居家族の喫煙状況

男性の臨床診断区分別同居家族の喫煙状況別割合を図74に示す。

「吸っている家族がいる」は、「脳梗塞」で55名18.6%、「脳出血」で26名37.7%、「くも膜下出血」は2名28.6%となっている。

「不明」は、「脳梗塞」63名21.3%、「脳出血」9名13.0%、「くも膜下出血」3名42.9%となっている。

図74 臨床診断区分別同居家族の喫煙状況別割合（男性）■吸っている家族いる □いない □不明

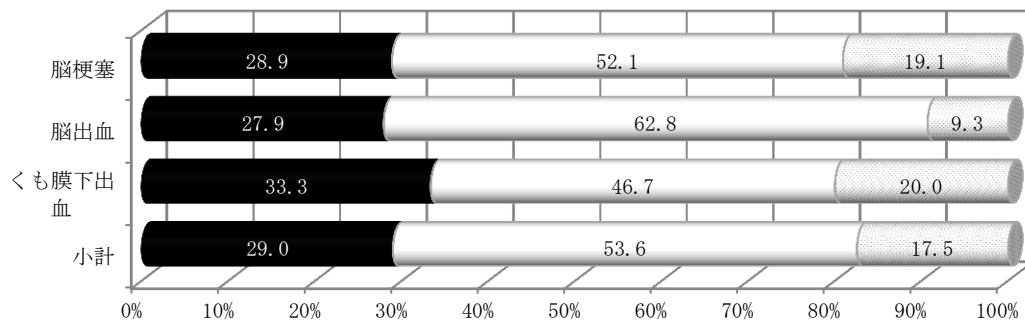


同じく女性の臨床診断区分別同居家族の喫煙状況別割合を図75に示す。

「吸っている家族がいる」は、「脳梗塞」で56名28.9%、「脳出血」で12名27.9%、「くも膜下出血」が5名33.3%となっている。

「不明」は、「脳梗塞」で37名19.1%、「脳出血」が4名9.3%、「くも膜下出血」3名20.0%となっている。

図75 臨床診断区分別同居家族の喫煙状況別割合（女性）■吸っている家族いる □いない □不明



28 性別臨床診断区分別飲酒状況

男性の臨床診断区分別飲酒状況別割合を図76に示す。

「脳梗塞」では、「飲まない」が127名42.9%、「毎日ではないが時々飲む」が46名15.5%、「1日1合未満」が17名5.7%、「1日1合程度」24名8.1%、「1日2合程度」40名13.5%、「1日3合以上」20名6.8%、「不明」が22名7.4%となっている。

「脳出血」は、「飲まない」が24名34.8%、「毎日ではないが時々飲む」10名14.5%、「1日1合未満」3名4.3%、「1日1合程度」4名5.8%、「1日2合程度」13名18.8%、「1日3合以上」11名15.9%、「不明」4名5.8%となっている。

「くも膜下出血」は、「飲まない」3名42.9%、「1日1合程度」「1日2合程度」が各1名14.3%ずつ、「不明」2名28.6%となっている。

次に女性の臨床診断区分別飲酒状況別割合を図77に示す。

「脳梗塞」では、「飲まない」が154名79.4%、「毎日ではないが時々飲む」が15名7.7%、「1日1合未満」4名2.1%、「1日1合程度」「1日2合程度」が各2名1.0%、「不明」が17名8.8%となっている。

「脳出血」は、「飲まない」が35名81.4%、「毎日ではないが時々飲む」5名11.6%、「1日1合未満」2名4.7%、「1日3合以上」1名2.3%となっている。

「くも膜下出血」15名は、「飲まない」12名80.0%、「毎日ではないが時々飲む」「1日2合程度」「不明」が各1名6.7%ずつとなっている。

図76 臨床診断区分別本人の飲酒状況別割合（男性）

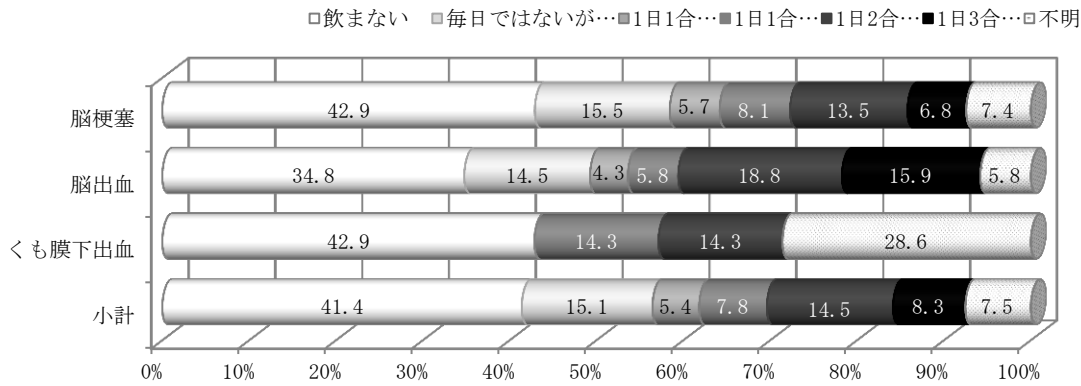
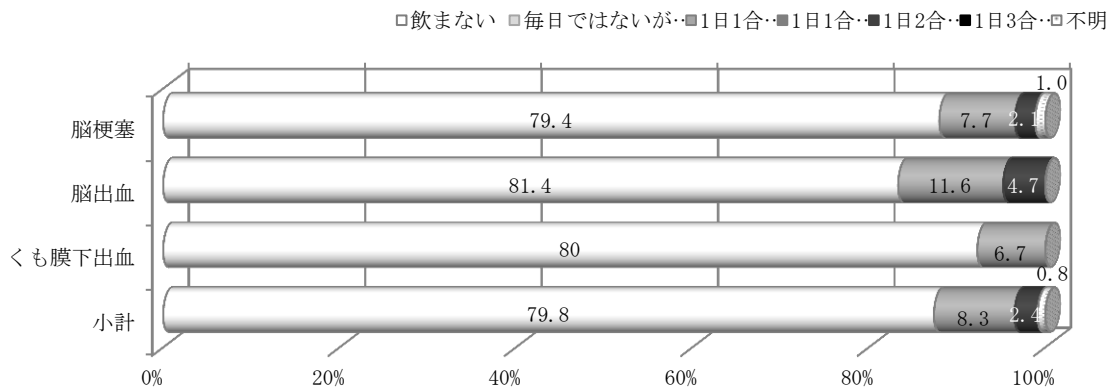


図77 臨床診断区分別本人の飲酒状況別割合（女性）



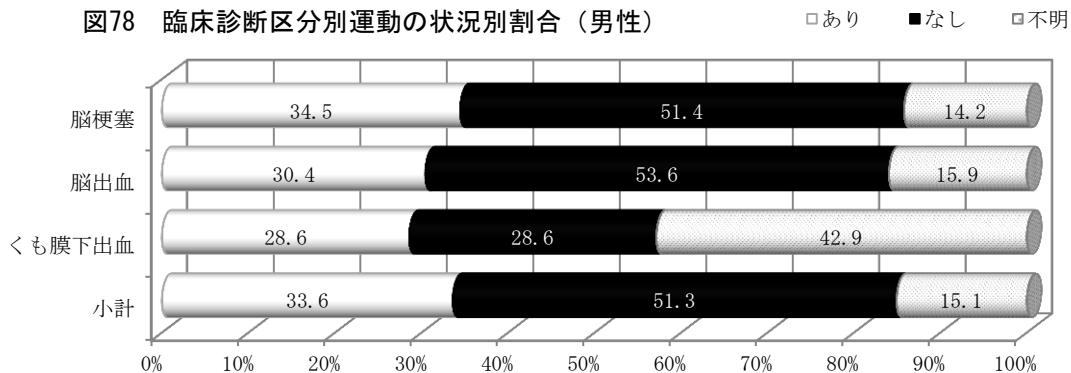
29 性別臨床診断区分別毎日30分以上の汗をかく運動の有無

男性の臨床診断区分別運動の状況別割合を図78に示す。

「活動や歩行あり」は、「脳梗塞」で102名34.5%、「脳出血」で21名30.4%、「くも膜下出血」では2名28.6%となっている。

「不明」は、「脳梗塞」42名14.2%、「脳出血」11名15.9%、「くも膜下出血」3名42.9%となっている。

図78 臨床診断区分別運動の状況別割合（男性）



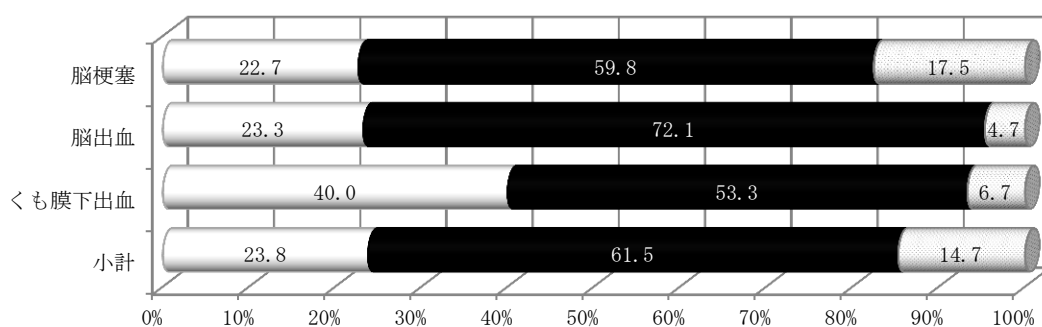
同じく女性の臨床診断区分別運動の状況別割合を図79に示す。

「活動や歩行の実施あり」は、「脳梗塞」で44名22.7%、「脳出血」10名23.3%、「くも膜下」は6名40.0%となっている。

「不明」は、「脳梗塞」34名17.5%、「脳出血」2名4.7%、「くも膜下出血」1名6.7%となっている。

図79 臨床診断区別運動の状況別割合（女性）

□あり ■なし □不明



30 性別臨床診断区別睡眠の状況

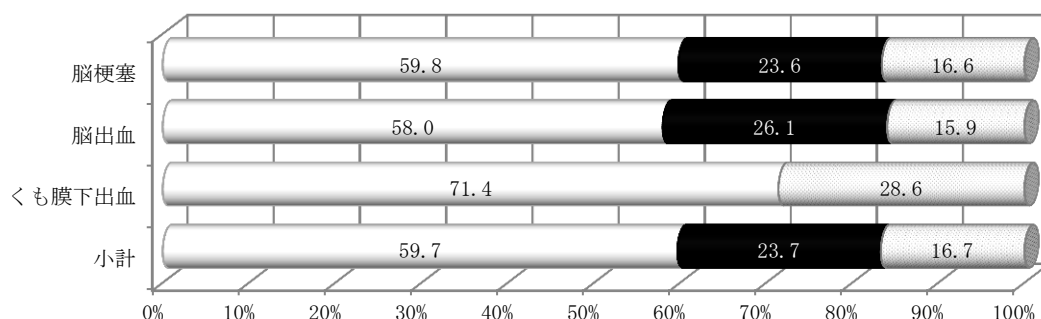
男性の臨床診断区別睡眠の状況別割合を図80に示す。

「眠れないことが多い」は、「脳梗塞」で70名23.6%、「脳出血」が18名26.1%となっている。

「不明」は、「脳梗塞」で49名16.6%、「脳出血」11名15.9%、「くも膜下出血」2名28.6%となっている。

図80 臨床診断区別睡眠の状況別割合（男性）

□よく眠れる ■眠れないことが多い □不明



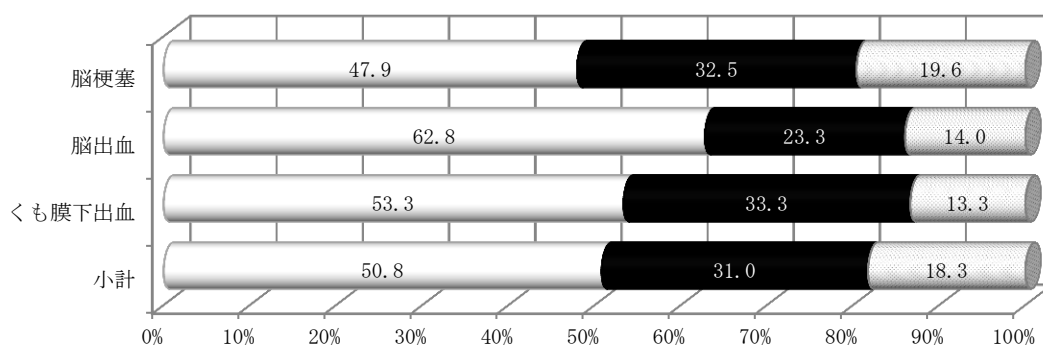
同じく女性の臨床診断区別睡眠の状況別割合を図81に示す。

「眠れないことが多い」は、「脳梗塞」が63名で32.5%、「脳出血」が10名23.3%、「くも膜下出血」は5名33.3%となっている。

「不明」は、「脳梗塞」38名19.6%、「脳出血」6名14.0%、「くも膜下出血」2名13.3%となっている。

図81 臨床診断区別睡眠の状況別割合（女性）

□よく眠れる ■眠れないことが多い



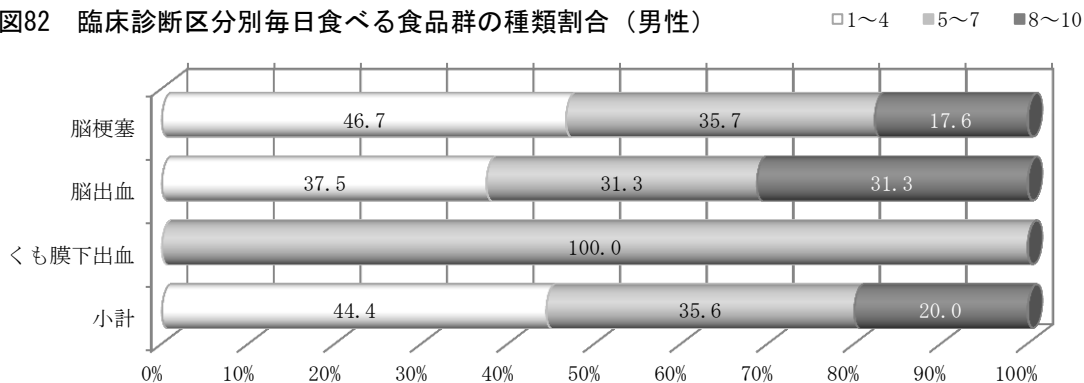
31 性別臨床診断区別毎日食べる食品群の数

毎日食べる食品群については、「穀類・いも類（ご飯・パン・麺類等）」、「豆・大豆製品」、「緑黄色野菜」、「その他の野菜」、「果物類」、「海藻類」、「魚介類」、「肉類」、「卵類」、「牛乳・乳製品」の各該当項目にチェックする形としている。

これら10種の食品群を「1~4」「5~7」「8~10」の3つに区分し集計した。

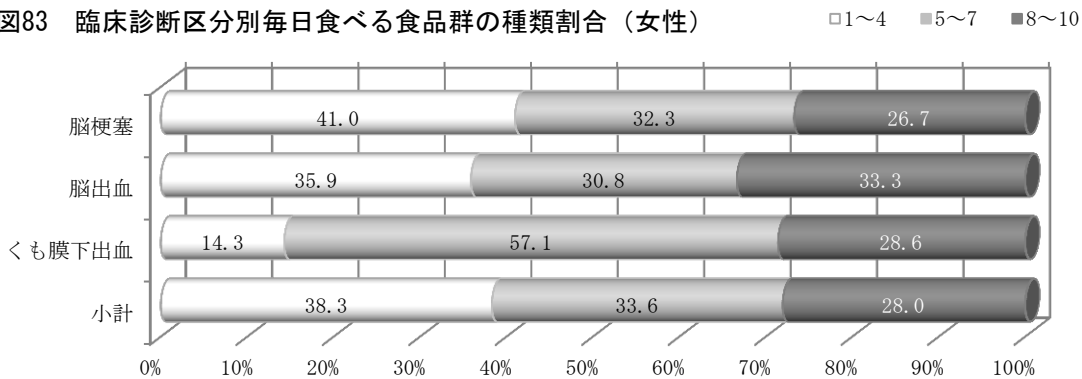
男性の臨床区分別毎日食べる食品群について、図82に示す。「脳梗塞」272名では、食品群数の少ない「1～4群」が127名46.7%、「5～7群」97名35.7%、食品群数の多い「8～10群」は48名17.6%となっている。「脳出血」64名では、「1～4」が24名37.5%、「5～7」及び「8～10」が各20名31.3%となっている。「くも膜下出血」4名では、全て「5～7」となっている。

図82 臨床診断区分別毎日食べる食品群の種類割合（男性）



女性の臨床区分別毎日食べる食品群について、図83に示す。「脳梗塞」161名では、食品群数の少ない「1～4群」が66名41.0%、「5～7群」64名32.3%、「8～10群」は43名26.7%となっている。「脳出血」39名では、「1～4」が14名35.9%、「5～7」12名30.8%、「8～10」が13名33.3%となっている。「くも膜下出血」14名では、「1～4」が2名14.3%、「5～7」8名57.1%、「8～10」が4名28.6%となっている。

図83 臨床診断区分別毎日食べる食品群の種類割合（女性）



32 性別臨床診断区別毎日食べる食品群の組み合わせ

食品群の組合せについては、「穀類・いも類」にチェックがあった者を「穀類」摂取者、「豆・大豆製品」・「魚介類」・「肉類」・「卵類」の一つ以上にチェックがあった者を「たんぱく製品」摂取者、「緑黄色野菜」及び「その他の野菜」の一つ以上にチェックがあった者を「野菜類」摂取者、「果物類」と「牛乳・乳製品」にチェックがあった者を各食品群の摂取者としてまず区分した。

その中で、「穀類+たんぱく製品+野菜類+果物+乳製品」摂取者を食事バランス「優」、「穀類+たんぱく製品+野菜類+果物+乳製品いずれか1群」の摂取者を食事バランス「良」、「穀類+たんぱく製品+野菜類のみ」の摂取者を食事バランス「可」、「それ未満」を食事バランス「否」に区分した。

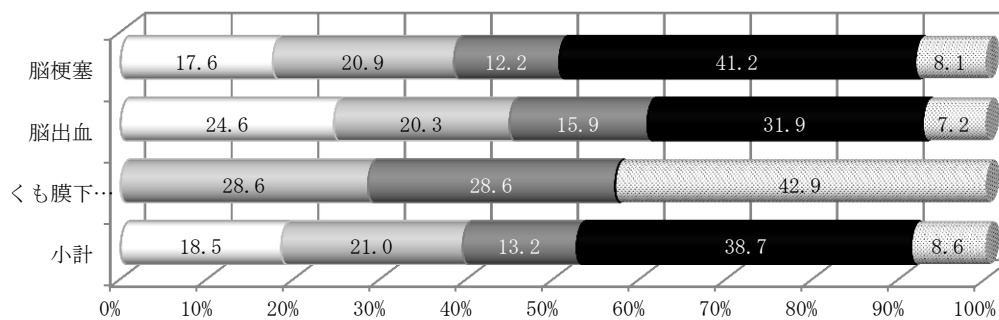
男性の臨床診断区別毎日食べる食品群の組み合わせ区別割合を図84に示す。

「脳梗塞」では、「優」が52名17.6%、「良」が62名20.9%、「可」が36名12.2%、「否」が122名41.2%、「不明」が24名8.1%となっている。

「脳出血」は、「優」が17名24.6%、「良」が14名20.3%、「可」が11名15.9%、「否」が22名31.9%、「不明」が5名7.2%となっている。

「くも膜下出血」は、「良」及び「可」が各2名28.6%ずつ、「不明」が3名42.9%となっている。

図84 臨床診断区別毎日食べる食品群の組み合わせ別割合（男性）□優 ■良 ■可 ■否 ◻不明



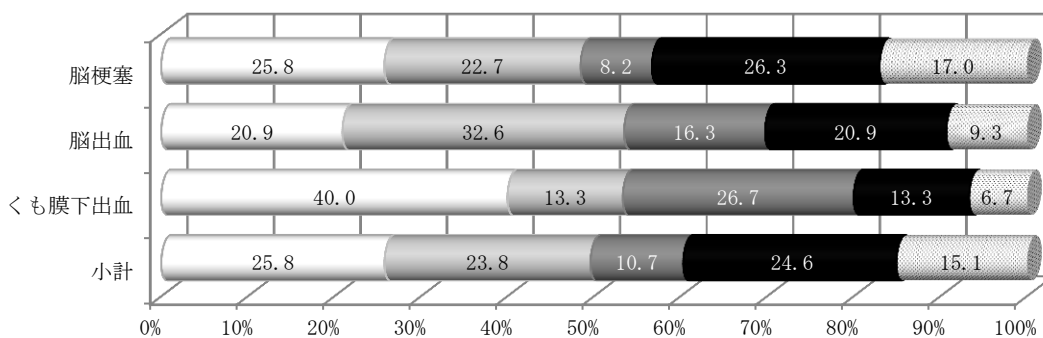
同じく、女性の臨床診断区別毎日食べる食品群の組み合わせ区別割合を図85に示す。

「脳梗塞」では、「優」が50名25.8%、「良」が44名22.7%、「可」が16名8.2%、「否」が51名26.3%、「不明」が33名17.0%となっている。

「脳出血」は、「優」が9名20.9%、「良」が14名32.6%、「可」が7名16.3%、「否」が9名20.9%、「不明」が4名9.3%となっている。

「くも膜下出血」は、「優」「可」が各6名40.0%、「良」及び「不明」が各4名18.2%ずつ、「否」が2名9.1%となっている。

図85 臨床診断区別毎日食べる食品群の組み合わせ別割合（女性）□優 ■良 ■可 ■否 ◻不明



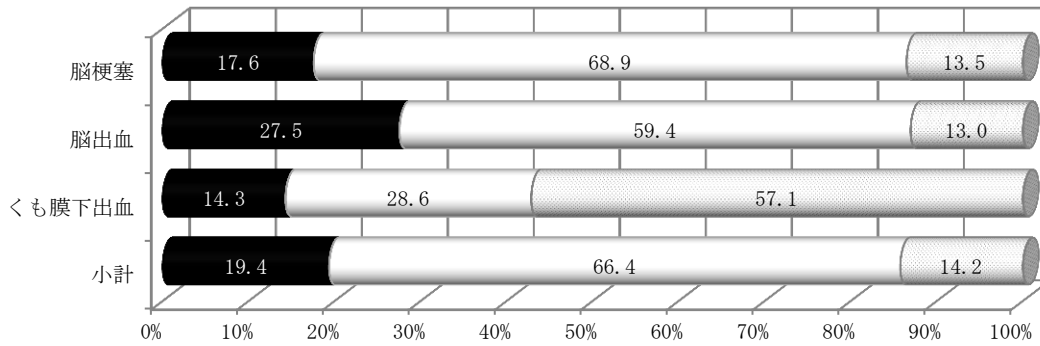
33 性別臨床診断区分別1日1回以上の外食等利用の有無

男性の臨床診断区分別1日1回以上の外食等利用の有無別割合を図86に示す。

「あり」は、「脳梗塞」で52名17.6%、「脳出血」が19名27.5%、「くも膜下出血」が1名14.3%となっている。

「不明」は、「脳梗塞」が40名13.5%、「脳出血」が9名13.0%、「くも膜下出血」が4名57.1%となっている。

図86 臨床診断区分別1日1回以上の外食等利用の有無別割合（男性） ■あり □なし □不明

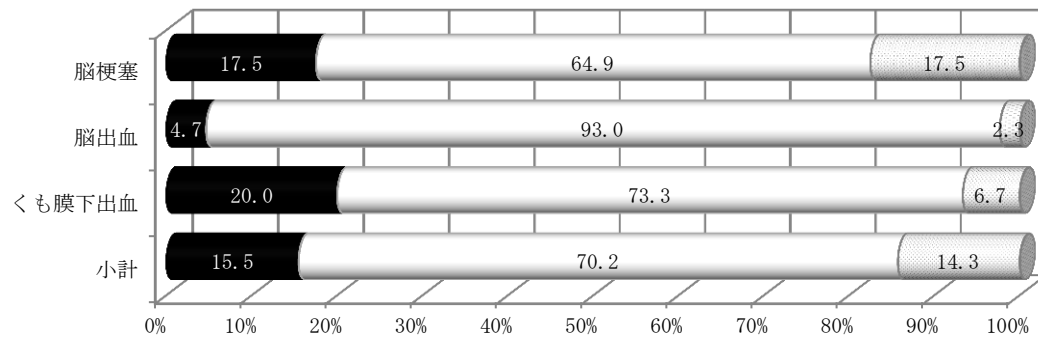


同じく女性の臨床診断区分別1日1回以上の外食等利用の有無別割合を図87に示す。

「あり」は、「脳梗塞」で34名17.5%、「脳出血」が2名4.7%、「くも膜下出血」が3名20.0%となっている。

「不明」は、「脳梗塞」が34名17.5%、「脳出血」1名2.3%、「くも膜下出血」1名6.7%となっている。

図87 臨床診断区分別1日1回以上の外食等利用の有無別割合（女性） ■あり □なし □不明



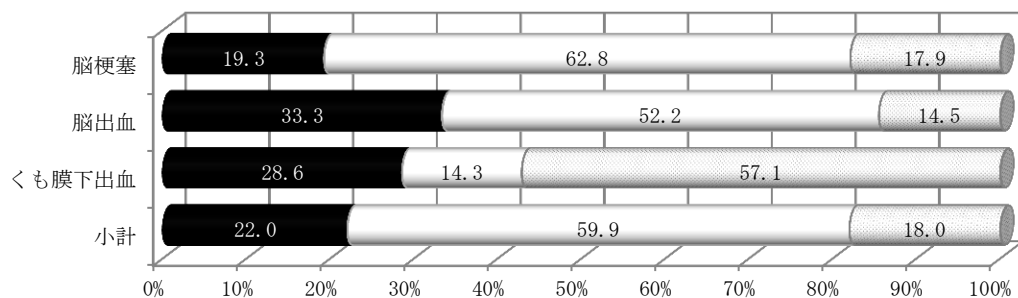
34 性別臨床診断区分別1日1回以上の加工食品等利用の有無

男性の臨床診断区分別1日1回以上の加工食品等利用の有無別割合を図88に示す。

「あり」は、「脳梗塞」で57名19.3%、「脳出血」が23名33.3%、「くも膜下出血」が2名28.6%となっている。

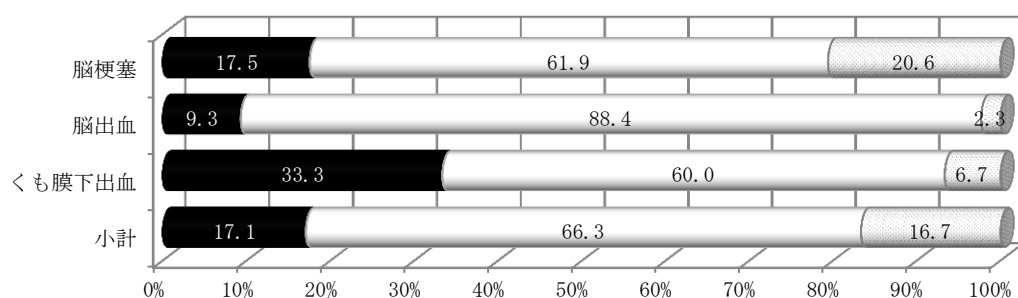
「不明」は、「脳梗塞」53名17.9%、「脳出血」10名14.5%、「くも膜下出血」4名57.1%となっている。

図88 臨床診断区分別1日1回以上の加工食品等利用の有無別割合（男性）■あり □なし □不明



同じく女性の臨床診断区分別1日1回以上の加工食品等利用の有無別割合を図89に示す。
 「あり」は、「脳梗塞」で34名17.5%、「脳出血」が4名9.3%、「くも膜下」が5名33.3%となっている。
 「不明」は、「脳梗塞」が40名20.6%、「脳出血」が1名2.3%、「くも膜下」1名6.7%となっている。

図89 臨床診断区分別1日1回以上の外食等利用の有無別割合（女性）■あり □なし □不明



35 性別臨床診断区分別味の好み

味の好みについては、「薄味を心がけている」、「普通」、「濃い味付けを好む」、「不明」に区分している。

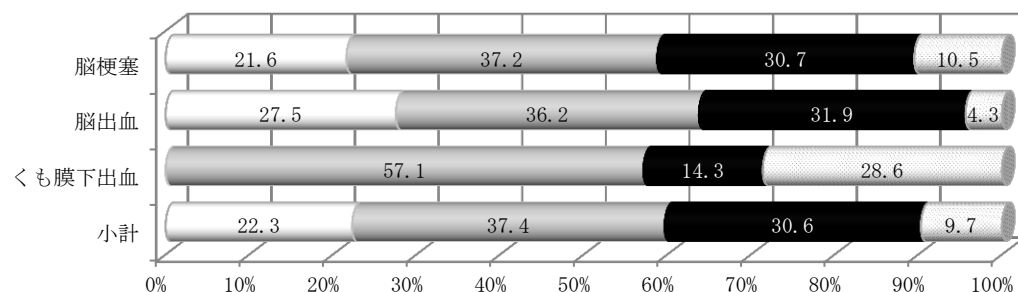
男性の臨床診断区分別味の好みの区分別割合を図90に示す。

「脳梗塞」では、「薄味を心がけている」が64名で21.6%、「普通」が110名37.2%、「濃い味付けを好む」が91名30.7%、「不明」が31名で10.5%となっている。

「脳出血」では、「薄味を心がけている」が19名で27.5%、「普通」25名36.2%、「濃い味付けを好む」22名31.9%、「不明」が3名4.3%となっている。

「くも膜下出血」は、「普通」4名57.1%、「濃い味付けを好む」1名14.3%、「不明」が2名28.6%となっている。

図90 臨床診断区分別味の好み区分別割合（男性）□薄味を心がけている ■普通 ■濃い味付けを好む □不明



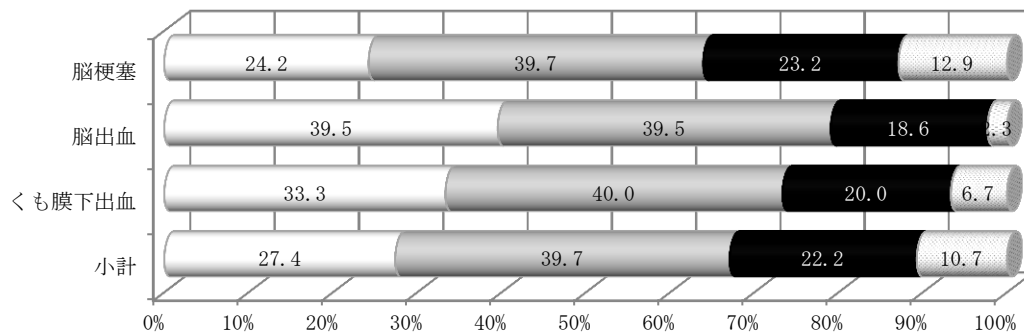
同じく、女性の臨床診断区分別味の好みの区分別割合を図91に示す。

「脳梗塞」では、「薄味を心がけている」が47名で24.2%、「普通」が77名39.7%、「濃い味付けを好む」が45名23.2%、「不明」が25名で12.9%となっている。

「脳出血」では、「薄味を心がけている」が17名で39.5%、「普通」が17名39.5%、「濃い味付けを好む」が8名18.6%、「不明」が1名2.3%となっている。

「くも膜下出血」は、「薄味を心がけている」5名33.3%、「普通」6名40.0%、「濃い味付けを好む」3名20.0%、「不明」1名6.7%となっている。

図91 臨床診断区分別味の好み区分別割合（女性） □薄味を心がけている ■普通 ■濃い味付けを好む □不明



36 性別臨床診断区分別野菜の摂取状況

野菜の摂取状況については、「ほぼ毎食食べる」、「1日1回は食べる」、「ほとんど食べない」、「不明」に区分している。

男性の臨床診断区分別野菜の摂取状況を図92に示す。

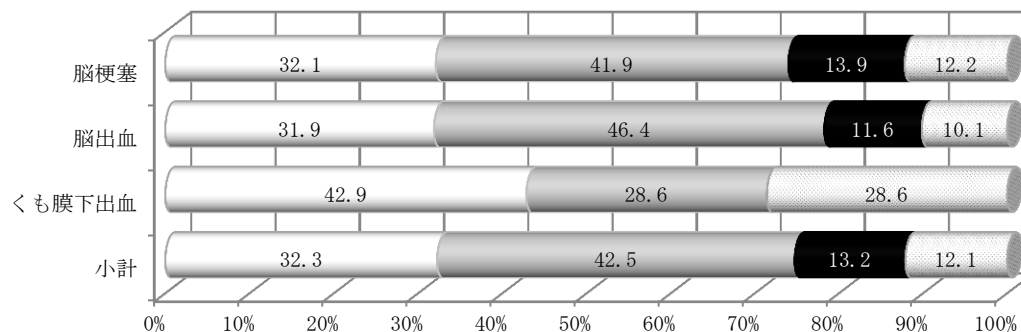
「脳梗塞」では、「ほぼ毎食食べる」が95名32.1%、「1日1回は食べる」が124名41.9%、「ほとんど食べない」が41名13.9%、「不明」が36名12.2%となっている。

「脳出血」では、「ほぼ毎食食べる」22名31.9%、「1日1回は食べる」32名46.4%、「ほとんど食べない」8名11.6%、「不明」が7名10.1%となっている。

「くも膜下出血」は、「ほぼ毎食食べる」3名42.9%、「1日1回は食べる」及び「不明」が各2名28.6%となっている。

図92 臨床診断区分別野菜の摂取状況（男性）

□ほぼ毎食食べる ■1日1回は食べる ■ほとんど食べない □不明



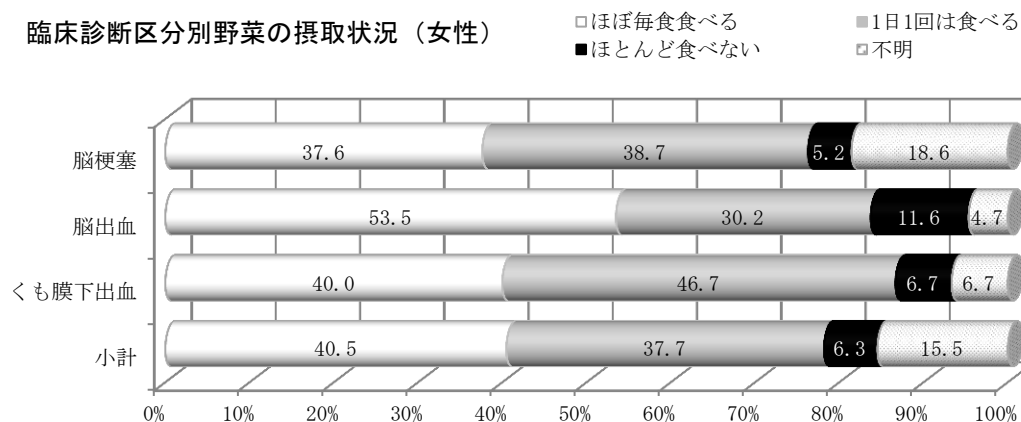
同じく、女性の臨床診断区分別野菜の摂取状況を図93に示す。

「脳梗塞」では、「ほぼ毎食食べる」が73名37.6%、「1日1回は食べる」が75名38.7%、「ほとんど食べない」が10名5.2%、「不明」が36名18.6%となっている。

「脳出血」では、「ほぼ毎食食べる」が23名53.5%、「1日1回は食べる」が13名30.2%、「ほとんど食べない」が5名11.6%、「不明」が2名4.7%となっている。

「くも膜下出血」は、「ほぼ毎食食べる」が6名40.0%、「1日1回は食べる」が7名46.7%、「ほとんど食べない」及び「不明」が各1名6.7%となっている。

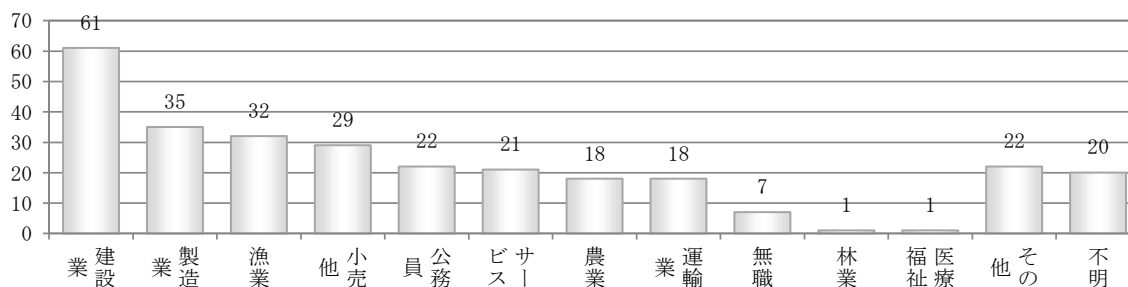
図93 臨床診断区分別野菜の摂取状況（女性）



37 これまでに最も長く就いた職業

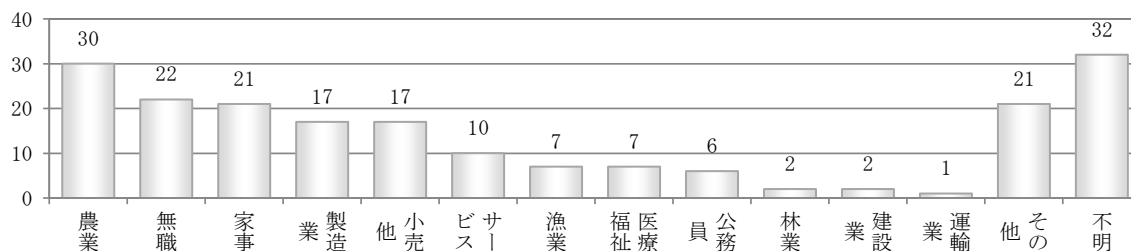
男性のこれまでに最も長く就いた職業区分別人数を図94に示す。「建設業」61名21.3%、「製造業」35名12.2%、「漁業」32名11.1%、「小売業」29名10.1%の順に多い状況となっている。「不明」は20名7.0%となっている。

図94 職業区分別人数（男性）



次に女性のこれまでに最も長く就いた職業区分別人数を図95に示す。「農業」30名15.4%、「無職」22名11.3%、「家事」21名10.8%、「製造業」及び「小売業」が各17名8.7%の順に多い状況となっている。「不明」は32名16.4%となっている。

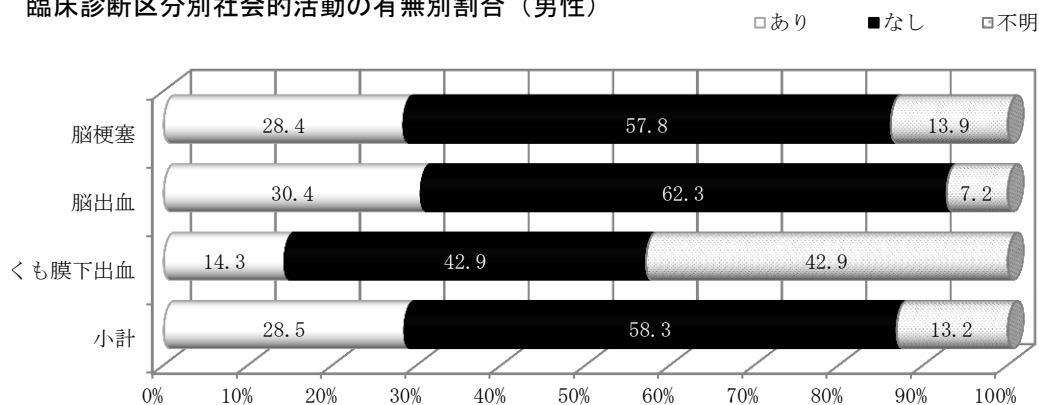
図95 職業区分別人数（女性）



38 性別臨床診断区分別社会的活動の有無

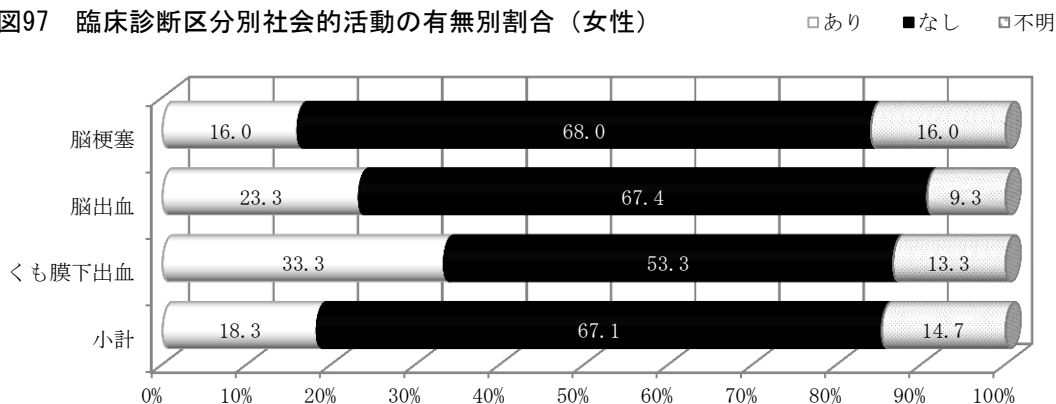
男性の臨床診断区分別社会的状況の有無別割合を図96に示す。社会的活動「なし」と答えた者は、「脳梗塞」で171名57.8%、「脳出血」で43名62.3%、「くも膜下出血」では3名42.9%となっている。「不明」は、「脳梗塞」が41名13.9%、「脳出血」が5名7.2%、「くも膜下出血」3名42.9%となっている。

図96 臨床診断区分別社会的活動の有無別割合（男性）



同じく女性の臨床診断区分別社会的状況の有無別割合を図97に示す。
 「なし」は、「脳梗塞」が132名68.0%、「脳出血」で29名67.4%、「くも膜下出血」で8名53.3%となっている。
 「不明」は、「脳梗塞」が31名16.0%、「脳出血」が4名9.3%、「くも膜下出血」2名13.3%となっている。

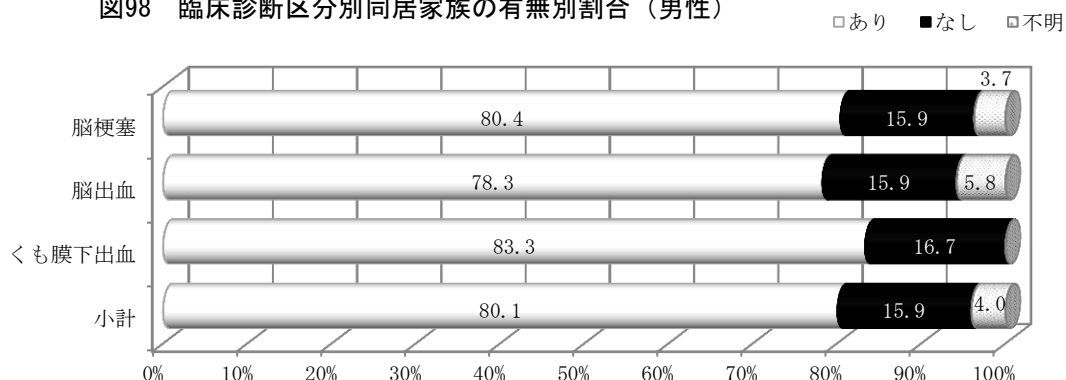
図97 臨床診断区分別社会的活動の有無別割合（女性）



39 性別臨床診断区分別同居家族の有無

男性の臨床診断区分別同居家族の有無別割合を図98に示す。
 同居家族「なし」は、「脳梗塞」で47名15.9%、「脳出血」で11名15.9%、「くも膜下」1名16.7%となっている。
 「不明」は、「脳梗塞」で11名3.7%、「脳出血」で4名5.8%となっている。

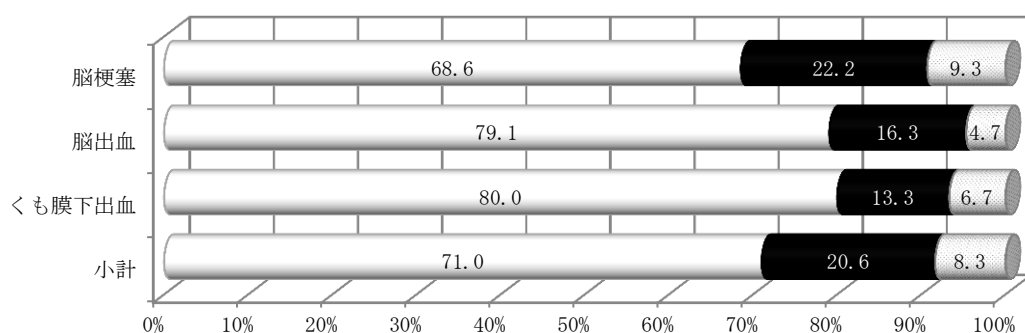
図98 臨床診断区分別同居家族の有無別割合（男性）



同じく女性の臨床診断区分別同居家族の有無別割合を図99に示す。
 同居家族「なし」は、「脳梗塞」で43名22.2%、「脳出血」で7名16.3%、「くも膜下」2名13.3%となっている。
 「不明」は、「脳梗塞」で18名9.3%、「脳出血」で2名4.7%、「くも膜下」1名6.7%となっている。

図99 臨床診断区分別同居家族の有無別割合（女性）

□あり ■なし □不明

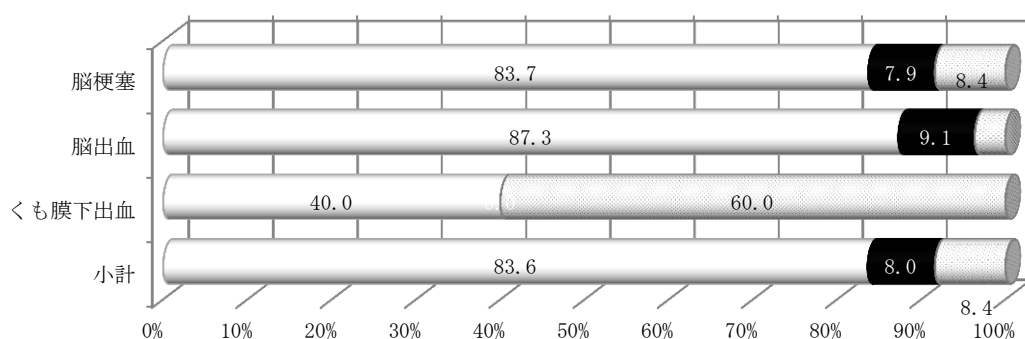


40 性別臨床診断区分別月に1回会ったり話す人の有無

男性の臨床診断区分別月1回以上会ったり話す家族・友人の有無割合を図100に示す。月1回以上会ったり話す家族や友人が「なし」は、「脳梗塞」で18名7.9%、「脳出血」で5名9.1%となっている。「不明」は、「脳梗塞」で19名8.4%、「脳出血」で2名3.6%、「くも膜下」3名60.0%となっている。

図100 臨床診断区分別月に1回会ったり話す人の有無別割合（男性）

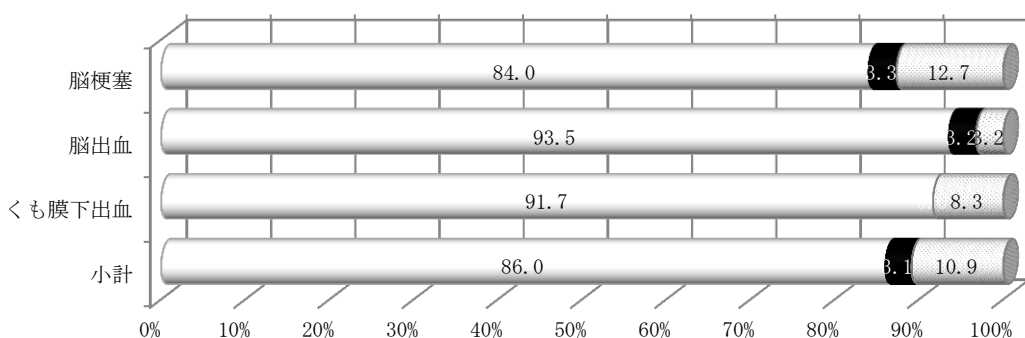
□あり ■なし □不明



次に、女性の臨床診断区分別月1回以上会ったり話す家族・友人の有無割合を図101に示す。月1回以上会ったり話す家族や友人が「なし」は、「脳梗塞」で5名3.3%、「脳出血」で1名3.2%となっている。「不明」は、「脳梗塞」で19名12.7%、「脳出血」で1名3.2%、「くも膜下」1名8.3%となっている。

図101 臨床診断区分別月に1回会ったり話す人の有無別割合（女性）

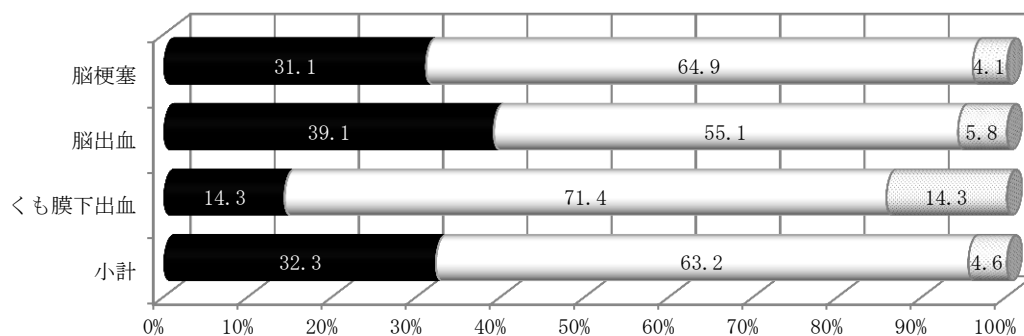
□あり ■なし □不明



41 性別臨床診断区分別被災の有無

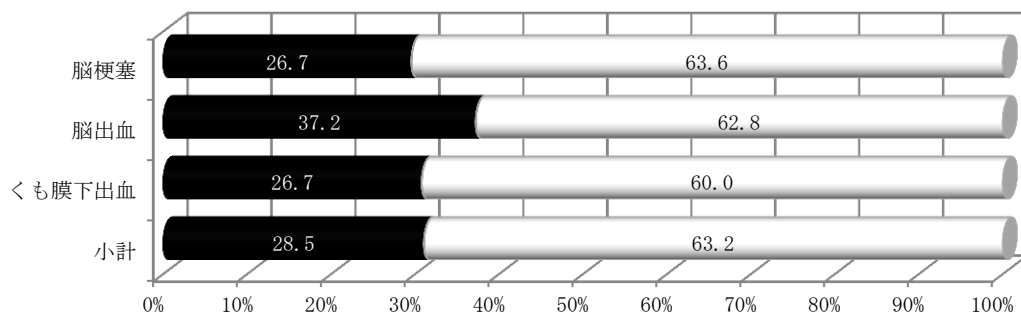
男性の臨床診断区分別被災の有無別割合を図102に示す。
 震災による被災が「あり」と答えた者は、「脳梗塞」で92名31.1%、「脳出血」が27名39.1%、「くも膜下」1名14.3%となっている。
 「不明」は、「脳梗塞」が12名4.1%、「脳出血」が4名5.8%、「くも膜下」1名14.3%となっている。

図102 臨床診断区分別被災の有無別割合（男性） ■あり □なし □不明



同じく女性の臨床診断区分別被災の有無別割合を図103に示す。
 震災による被災が「あり」と答えた者は、「脳梗塞」で52名26.7%、「脳出血」が16名37.2%、「くも膜下出血」が4名26.7%となっている。
 「不明」は、「脳梗塞」で19名9.7%、「くも膜下出血」で2名13.3%となっている。

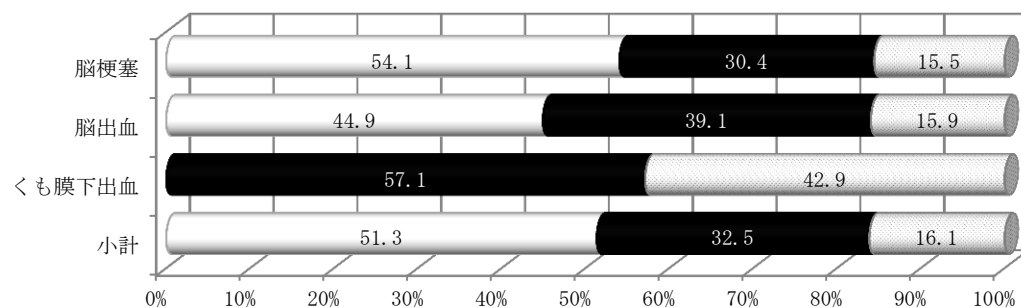
図103 臨床診断区分別被災の有無別割合（女性） ■あり □なし



42 性別臨床診断区分別血圧測定の有無

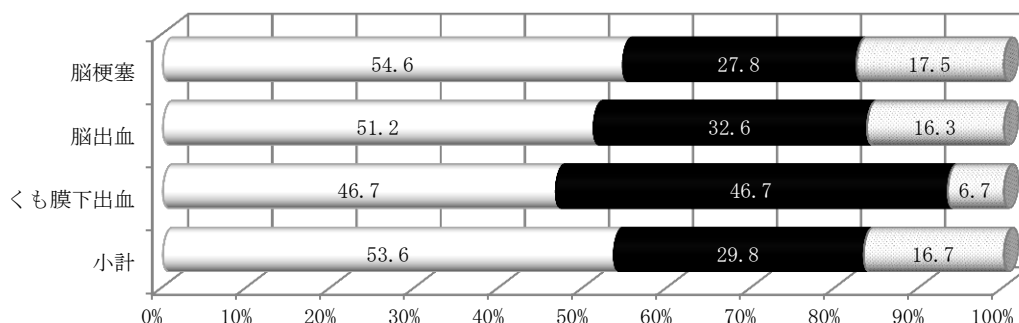
男性の臨床診断区分別血圧測定習慣有無別割合を図104に示す。
 血圧測定習慣が「なし」と答えた者は、「脳梗塞」で90名30.4%、「脳出血」が27名39.1%、「くも膜下」が4名57.1%となっている。
 「不明」は、「脳梗塞」で46名15.5%、「脳出血」で11名15.9%、「くも膜下」で3名42.9%となっている。

図104 臨床診断区分別血圧測定有無別割合（男性） □あり ■なし □不明



同じく女性の臨床診断区分別血圧測定有無別割合を図105に示す。
 血圧測定習慣が「なし」と答えた者は、「脳梗塞」で54名27.8%、「脳出血」が14名32.6%、「くも膜下」が7名46.7%となっている。
 「不明」は、「脳梗塞」で34名17.5%、「脳出血」で7名16.3%、「くも膜下」が1名6.7%となっている。

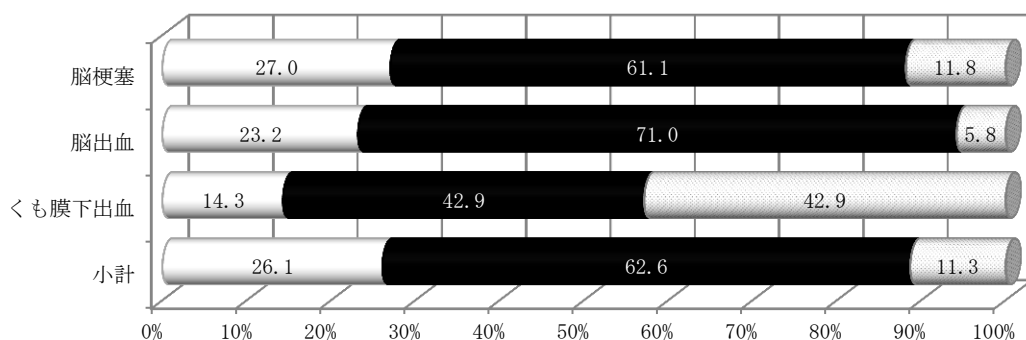
図105 臨床診断区分別血圧測定有無別割合（女性） □あり ■なし □不明



43 性別臨床診断区分別冬期間の浴室脱衣所の暖房の有無

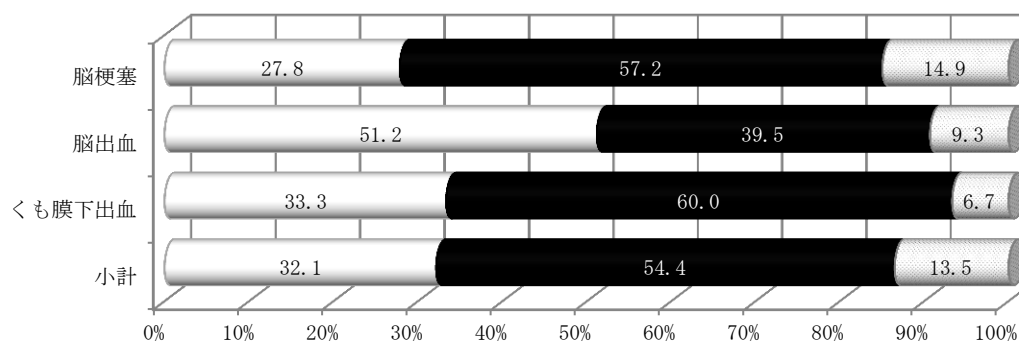
男性の臨床診断区分別浴室暖房有無別割合を図106に示す。
 浴室の脱衣所に暖房「なし」は、「脳梗塞」で181名61.1%、「脳出血」で49名71.0%、「くも膜下出血」では3名42.9%となっている。
 「不明」は、「脳梗塞」が35名11.8%、「脳出血」が4名5.8%、「くも膜下」が3名42.9%となっている。

図106 臨床診断区分別浴室暖房有無別割合（男性） □あり ■なし □不明



同じく女性の臨床診断区分別浴室脱衣所の暖房有無別割合を図107に示す。
 浴室脱衣所に暖房「なし」は、「脳梗塞」で111名57.2%、「脳出血」は17名39.5%、「くも膜下出血」では9名60.0%となっている。「不明」は、「脳梗塞」が29名14.9%、「脳出血」が4名9.3%、「くも膜下」が1名6.7%となっている。

図107 臨床診断区分別浴室暖房有無別割合（女性） □あり ■なし □不明



44 性別臨床診断区分別冬期間のトイレ暖房（便座以外）の有無

男性の臨床診断区分別トイレ暖房有無別割合を図108に示す。

冬期間の便座以外のトイレ暖房「なし」は、「脳梗塞」で203名68.6%、「脳出血」が51名73.9%、「くも膜下出血」は3名42.9%となっている。

「不明」は、「脳梗塞」が32名10.8%、「脳出血」が3名4.3%、「くも膜下」が3名42.9%となっている。

同じく女性の臨床診断区分別冬期間トイレ暖房（便座以外）有無別割合を図109に示す。

冬期間のトイレ暖房（便座以外）「なし」は、「脳梗塞」で117名60.3%、「脳出血」が25名75.8%、「くも膜下出血」は12名80.0%となっている。

「不明」は、「脳梗塞」が27名13.9%、「脳出血」が4名12.1%、「くも膜下」が1名6.7%となっている。

図108 臨床診断区分別トイレ暖房有無別割合（男性） □あり ■なし □不明

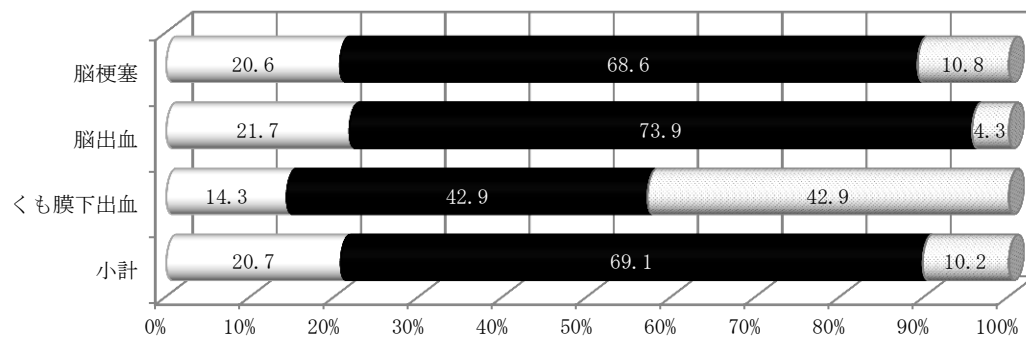


図109 臨床診断区分別トイレ暖房有無別割合（女性） □あり ■なし □不明

